



外食総研セミナー2024



HOT PEPPER GOURMET RESEARCH AND TRENDS WEBINAR 2024



会社プロフィール



たなか なおき
田中 直樹

『ホットペッパーグルメ外食総研』
研究員

2008年	株式会社リクルート入社
2016年	アーバン2グループ(新宿周辺エリア) グループマネージャー
2018年	福岡飲食グループ グループマネージャー
2019年	神戸飲食グループ グループマネージャー
2020年	エリアマーケティングフォローセンターグループ(コールセンター) グループマネージャー
2024年現在	『ホットペッパーグルメ外食総研』上席研究員 兼 『営業推進2グループ』企画スタッフ

『ホットペッパーグルメ外食総研』では、DX調査や飲食店DX事例サイト運営をメインに司り、多くのソリューション事例を収集し、社内・社外へ言語化、展開している。また、営業推進スタッフとしてナレッジマネジメントにも携わり、ソリューション営業への進化をサポートしている。飲みに行くのは専ら立ち飲みで、日常的に一人飲みも。

『ホットペッパーグルメ外食総研』が目指す姿

- 食を通じてたくさんの笑顔を生み出すことを目指す



『ホットペッパーグルメ外食総研』ウェブサイトより <https://www.hotpepper.jp/ggs/>

『ホットペッパーグルメ外食総研』研究員のご紹介

■ 外食に精通した研究員が、
外食市場、外食産業の発展のため、研究・提案しています。



いながき まさひろ
稲垣 昌宏

カスタマー動向、調査分析



たけだ くに
竹田 クニ

社会変化、業界・行政動向



たなか なおき
田中 直樹

食トレンド、調査分析

ごあいさつ

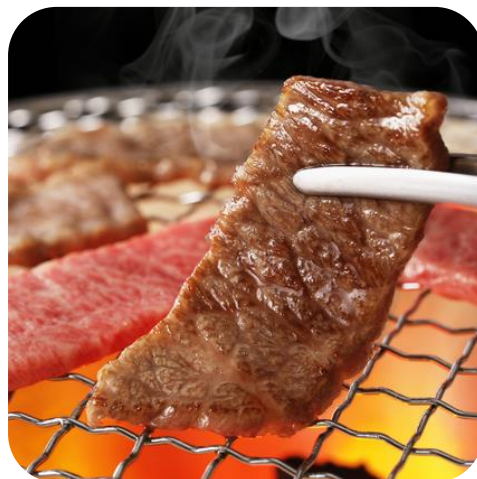
株式会社リクルート
Division統括本部 飲食Division Vice President

しながわ しょう

品川 翔



外食総研セミナー2024



第1部

- 2023年度 外食&中食市場概況
- 飲酒市場、コロナ禍前後および中期経年比較

プロフィール



いながき
稲垣 昌宏

1987年	株式会社リクルート入社
2005年	『エイビーロード』編集長
2006年	『エイビーロード・リサーチセンター』センター長
2013年	『ホットペッパーグルメリサーチセンター』センター長 農水省・グリーンツーリズム推進事業受託
2015年	農水省・食と農の景勝地準備委員会 分科会委員
2024年現在	『ホットペッパーグルメ外食総研』上席研究員 兼 『じゃらんリサーチセンター』研究員 経済同友会・地域協創委員会ワーキンググループメンバー

『ホットペッパーグルメ外食総研』では、市場調査をメインに消費者動向から外食市場動向を分析・予測。
また、観光に関する調査・研究、地域振興機関である『じゃらんリサーチセンター』研究員も兼務し、
「食」と「観光」をテーマに各種委員会活動や講演などを行っている。肉より魚を好む、自称「魚食系男子」。

本日お話しすること

1

2023年度（2023年4月～2024年3月）
外食＆中食市場まとめ（「外食市場調査」より）

2

2024年度4～7月外食＆中食市場最新動向
（「外食市場調査」より）

3

飲酒市場、コロナ禍前後および中期経年比較
（「外食市場調査」再集計より）

本日お話しすること

1

2023年度（2023年4月～2024年3月）
外食＆中食市場まとめ（「外食市場調査」より）

2

2024年度4～7月外食＆中食市場最新動向
（「外食市場調査」より）

3

飲酒市場、コロナ禍前後および中期経年比較
（「外食市場調査」再集計より）

調査概要

外食市場調査

- 調査目的 夕方以降の外食および中食の市場規模を把握すること
- 調査対象 首都圏、関西圏、東海圏の20～69歳の男女(※)、毎月約1万人
- 調査方法 インターネット調査
毎月食事内容の記録モニターを募集し、夕食（外食／中食）を提出

特長

- **個人消費者を対象**にした調査
→性年代別の外食・中食の消費動向が分かる。
- **毎月1万人規模**で回収
→相手別、業態別やあらかじめ設定したタウン（街）別の消費動向が分かる。
- 2012年10月から**毎月実施している**経年調査
→速報値は毎翌月末発表。外食・中食消費動向の推移や変化が分かる。

※回答者が選択した性別

・本日14時配布の「2023年度外食＆中食動向（2023年4月～2024年3月：東名阪夕食）」のプレスリリースも併せてご参照ください

2023年度の外食市場①

■ 2023年度の外食市場（3圏域計、夕食）はコロナ禍前比-16.6%



3956万人

前年度比
-0.6%



67.8%

前年度差
+3.6pt



3.79回/月

前年度差
+0.09回/月



2,828円

前年度比
+5.1%

$3956\text{万人} \times 67.8\% \times 3.79\text{回/月} \times 2,828\text{円} =$

市場規模
3圏域計
3兆4482億円
前年度比
+12.8%

延べ外食回数 12億1945万回

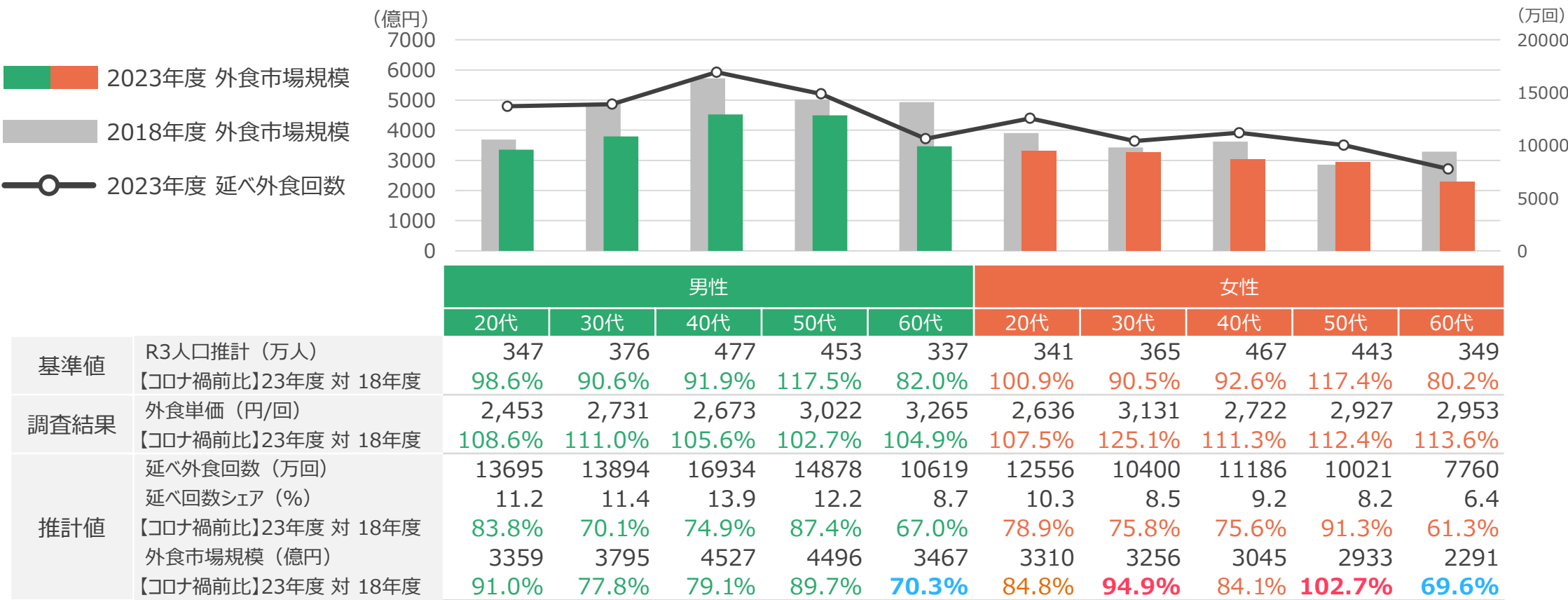
(前年度比 +7.3% ※18年度比-23.7%)

※18年度比-16.6%

※昨年度は19年度を[コロナ禍前]として比較していたが、厳密には19年2～3月はコロナ禍の影響を受けていることから、今年度は、18年度を[コロナ禍前]として比較している

2023年度の外食市場②

■ 性年代別・延べ外食回数、外食単価、外食市場規模の18年度比
50代女性は市場規模が18年度比102.7%と、コロナ禍前超え。



※各性年代の人口に、1カ月当たりの外食実施率と1カ月当たりの実施者の外食頻度を乗じて、各性年代の延べ外食回数を推計 ※各性年代の延べ外食回数に、各性年代の外食単価を乗じて、各性年代の外食市場規模を推計 ※各性年代の外食市場規模の合計は、有効桁数の関係で、年間の外食市場規模と完全には合致しない

2023年度の外食市場③

■ 業態（大分類別）の単価、延べ外食回数、市場規模の18年度比
食事主体・小計はコロナ禍前比が9割台まで回復。
一方、飲酒主体・小計はコロナ禍前比ではようやく7割台の回復状況。

		外食単価 (円/回)	コロナ禍前比 23年度/18年度	延べ外食 回数 (万回)	延べ回数 シェア	コロナ禍前比 23年度/18年度	外食市場 規模 (億円)	市場規模 シェア	コロナ禍前比 23年度/18年度
大分類	食事主体・小計	2,720	111.1%	87760	72.0%	82.2%	23873	69.2%	91.3%
	飲酒主体・小計	4,037	110.9%	20910	17.1%	63.9%	8442	24.5%	70.8%
	軽食主体・小計	957	115.5%	10473	8.6%	69.6%	1002	2.9%	80.3%
	その他・小計	4,243	106.0%	2801	2.3%	53.6%	1189	3.4%	56.8%

3圏域計・年間外食回数ベース（回）、補正後の件数

※年間の延べ外食回数の推計値に、外食単位集計の構成比を乗じて各分類の外食回数を推計 ※各分類の外食回数に、各分類の外食単価を乗じて各分類の外食市場規模を推計 ※各分類の外食市場規模の合計は、有効桁数の関係で、年間の外食市場規模と完全には合致しない ※業態【大分類】別の単価は、外食市場規模（億円）の小計を延べ外食回数（万回）の小計で除して算出している

2023年度の外食市場④

■業態（小分類別）の前年度比

※年間の延べ外食回数の推計値に、外食単位集計の構成比を乗じて各分類の外食回数を推計
各分類の外食回数に、各分類の外食単価を乗じて各分類の外食市場規模を推計
各分類の外食市場規模の合計は、有効桁数の関係で、年間の外食市場規模と完全には合致しない

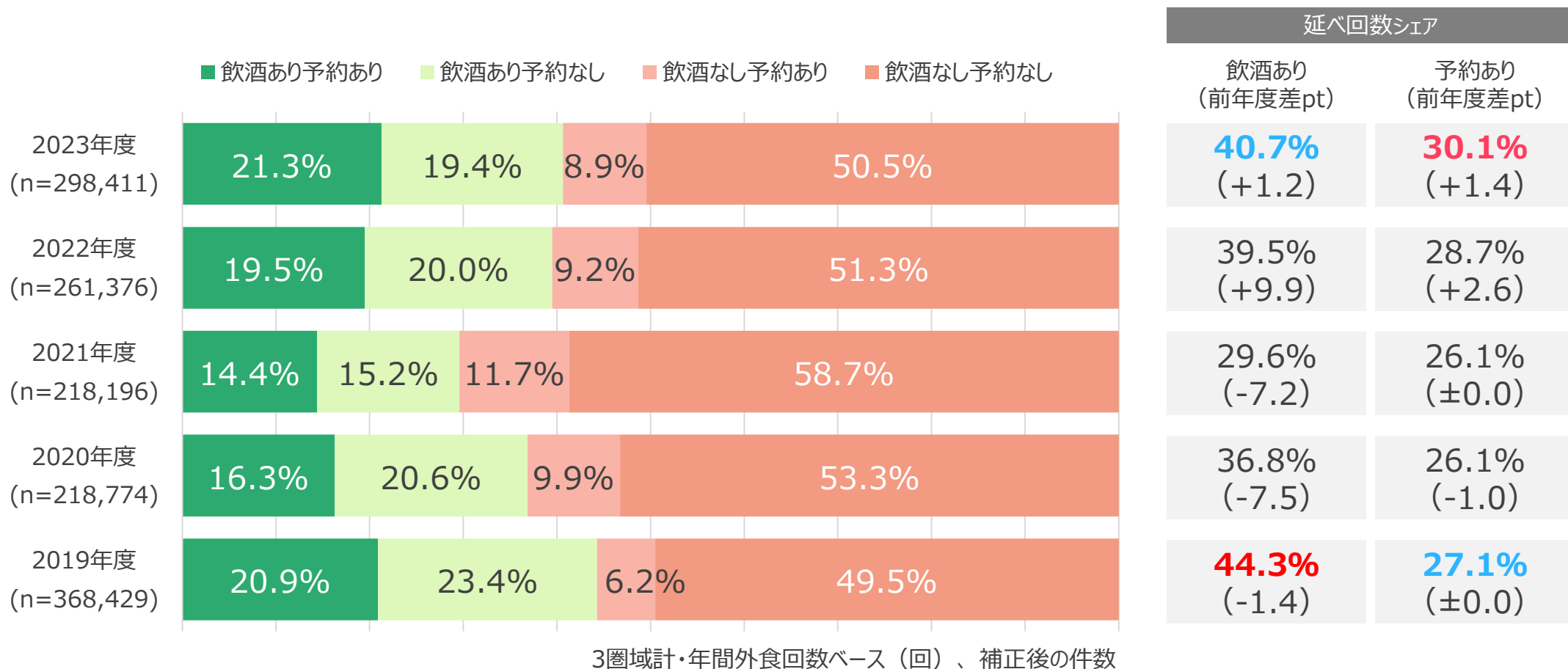
調査票では
※1「和食料理店（すし、割烹、料亭、郷土料理専門店等）」
※2「レストラン（ファミリーレストラン以外）、食堂、ダイニング、洋食店（フレンチ・イタリアン以外）」
※3「フレンチ・イタリアン料理店（ファミリーレストラン以外）」
※4「すき焼き、しゃぶしゃぶ、鍋、おでん等の専門店」
※5「ラーメン、そば、うどん、パスタ、ピザ等の専門店」
※6「居酒屋（焼鳥、串焼き、串揚げ等、飲酒メインの業態を含む）」
※7「コンビニエンスストアやスーパーマーケット等のイートインスペース」

		外食単価		延べ外食回数			外食市場規模(推計)		
		(円/回)	前年度比 (%)	(万回)	シェア (%)	前年度比 (%)	(億円)	シェア (%)	前年度比 (%)
3圏域計 2023年度		2,828	105.1	121945	100.0	107.3	34482	100.0	112.8
食事主体	和食料理店 ※1	4,304	105.8	12585	10.3	105.7	5417	15.7	111.8
	中華料理店（ラーメン専門店は除く）	2,485	106.1	9566	7.8	111.5	2377	6.9	118.3
	レストラン、食堂、ダイニング、洋食店 ※2	2,510	106.3	8105	6.6	104.1	2034	5.9	110.7
	フレンチ・イタリアン料理店 ※3	4,926	102.6	5581	4.6	106.0	2749	8.0	108.8
	アジア料理店	2,938	107.1	2562	2.1	112.0	752	2.2	120.0
	その他の各国料理店	3,317	106.9	1123	0.9	111.5	373	1.1	119.2
	焼肉、ステーキ、ハンバーガー等の専門店	3,883	104.0	10115	8.3	103.2	3928	11.4	107.3
	お好み焼き、鉄板焼き等の専門店	2,947	107.6	2183	1.8	104.9	643	1.9	112.9
	すき焼き、しゃぶしゃぶ等の専門店 ※4	4,026	108.9	1779	1.5	102.6	716	2.1	111.7
	ファミリーレストラン、回転すし等	1,611	104.1	15940	13.1	105.6	2567	7.4	109.9
	ラーメン、そば、うどん等の専門店 ※5	1,190	105.1	14517	11.9	105.0	1727	5.0	110.3
	その他の食事を主体とする業態の店	1,590	102.8	3703	3.0	104.0	589	1.7	107.0
	居酒屋 ※6	3,856	104.4	17509	14.4	113.6	6751	19.6	118.5
飲酒主体	バー、バル、ワインバー、ビアホール、パブ	4,308	107.3	2179	1.8	104.4	938	2.7	112.0
	カラオケボックス	3,714	109.6	323	0.3	101.5	120	0.3	111.3
	スナック、ナイトクラブ、キャバレー	10,148	116.1	464	0.4	95.9	471	1.4	111.3
	その他の飲酒を主体とする業態の店	3,698	102.5	435	0.4	130.2	161	0.5	133.4
軽食主体	ファストフード（ハンバーガー、サンドイッチ等）	915	107.2	2763	2.3	107.3	253	0.7	115.0
	牛丼、カレー等、一品もの専売業態	812	104.8	4299	3.5	114.5	349	1.0	120.0
	立食のラーメン、うどん・そば業態	735	104.0	423	0.3	115.2	31	0.1	119.8
	喫茶店・カフェ	1,365	100.4	1998	1.6	103.2	273	0.8	103.7
	コンビニエンスストア等のイートインスペース ※7	660	94.2	560	0.5	105.3	37	0.1	99.1
	その他の軽食を主体とする業態の店	1,388	128.4	430	0.4	131.4	60	0.2	168.6
その他	ホテルや各種会場（披露宴・セミナー等）	7,176	104.9	901	0.7	124.4	647	1.9	130.5
	旅行・出張先のホテルや旅館	6,522	110.7	533	0.4	79.7	348	1.0	88.3
その他		1,421	102.9	1367	1.1	114.6	194	0.6	117.9

2023年度の外食市場⑤

■ 飲酒率・予約率

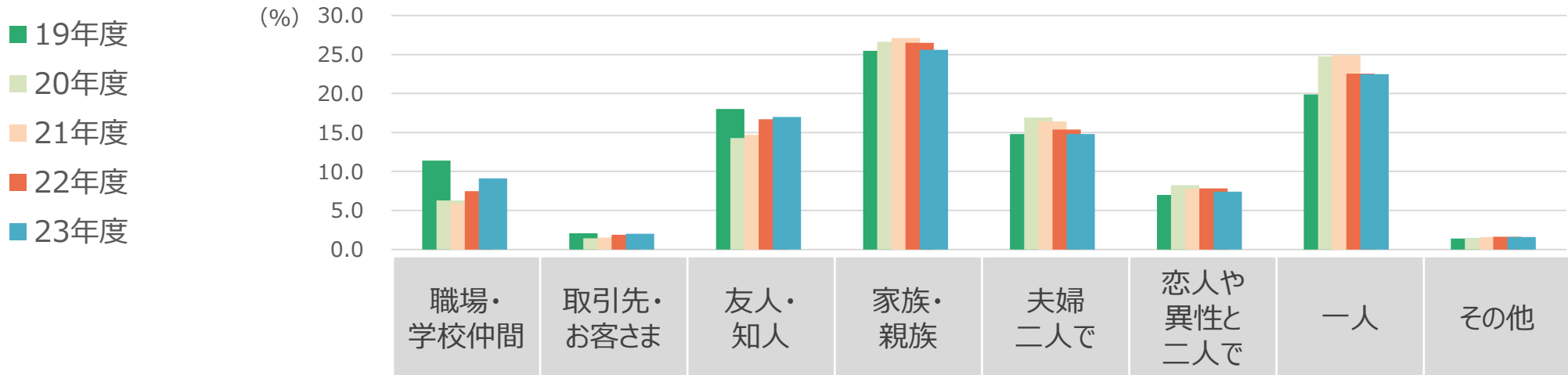
飲酒機会は戻り切っていない一方、「予約あり」外食率はコロナ禍前を上回り3割台に。



2023年度の外食市場⑥

■ 外食の相手

ほぼコロナ禍前に戻った相手もあるが、「一人」はコロナ禍前より増加、「職場・学校仲間」は減少。



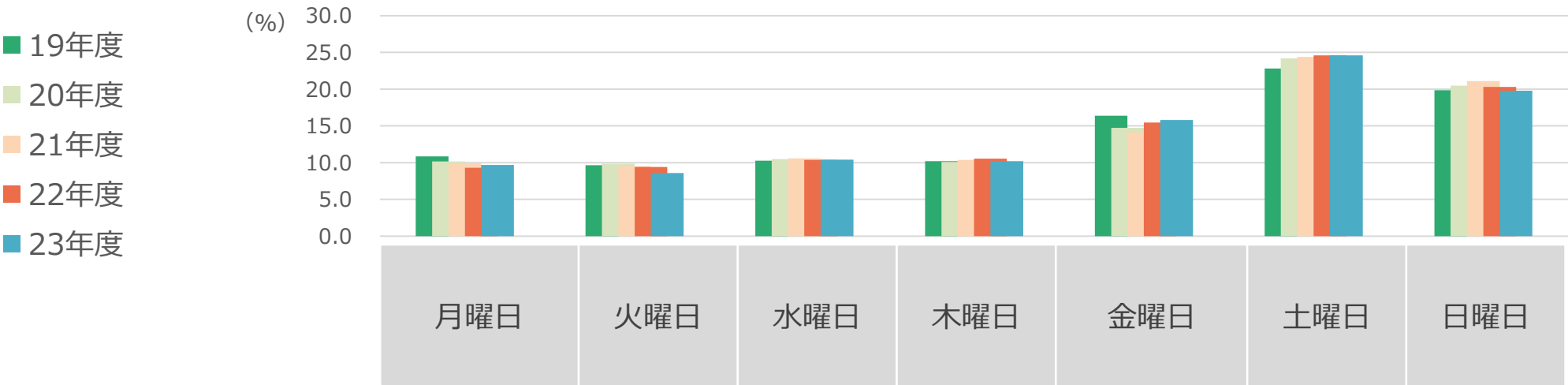
	職場・学校仲間	取引先・お客さま	友人・知人	家族・親族	夫婦二人で	恋人や異性と二人で	一人	その他
23年度 (n=298,411)	9.1%	2.0%	17.0%	25.6%	14.8%	7.4%	22.5%	1.6%
22年度 (n=261,376)	7.5%	1.9%	16.7%	26.5%	15.4%	7.8%	22.6%	1.6%
21年度 (n=218,196)	5.9%	1.5%	14.7%	27.1%	16.4%	7.8%	24.9%	1.6%
20年度 (n=218,774)	6.3%	1.4%	14.3%	26.6%	16.9%	8.3%	24.8%	1.4%
19年度 (n=368,429)	11.4%	2.1%	18.0%	25.5%	14.8%	7.0%	19.9%	1.4%

3圏域計・年間外食回数ベース（回）、補正後の件数

2023年度の外食市場⑦

■ 外食の曜日

土曜日・日曜日のシェアは高止まり。金曜日は2年連続で回復傾向。



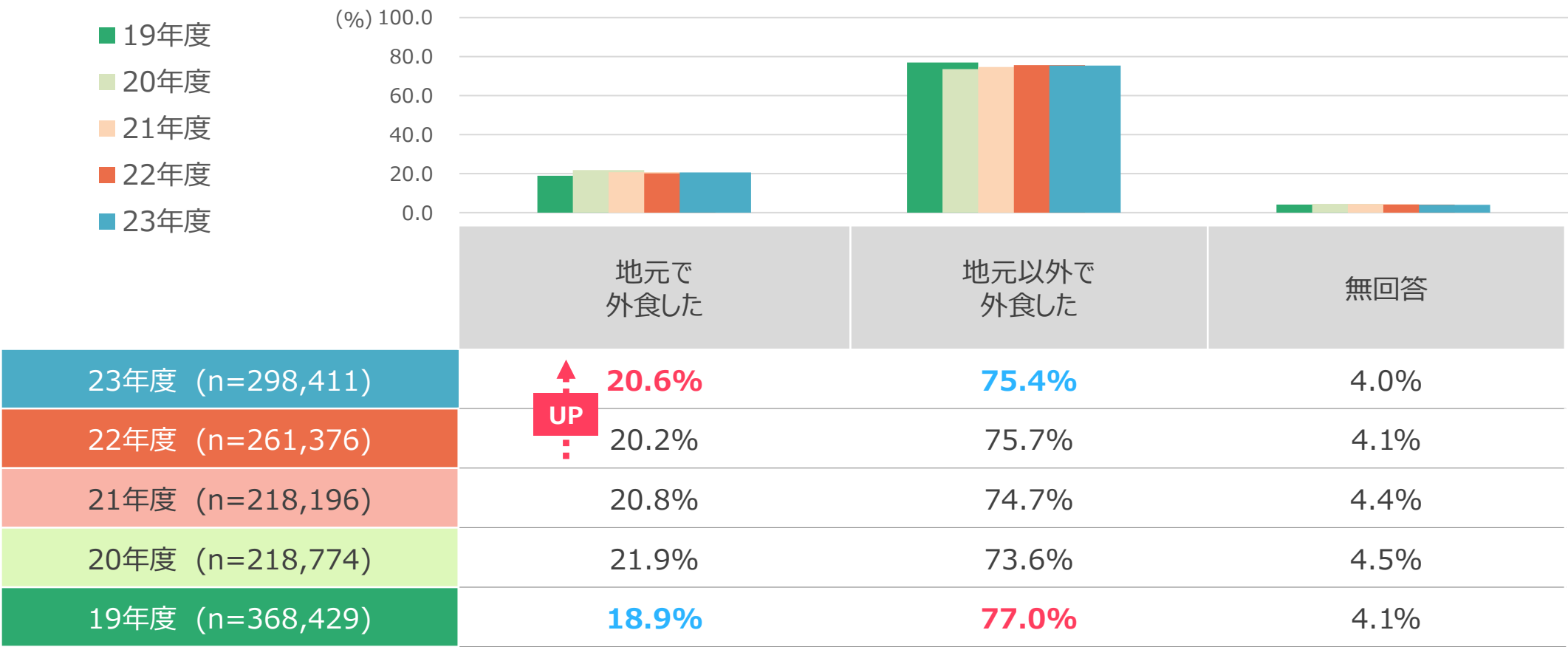
23年度 (n=298,411)	9.7%	8.6%	10.4%	10.2%	▲ 15.8%	24.6%	20.6%
22年度 (n=261,376)	9.3%	9.4%	10.4%	10.5%	UP 15.5%	24.6%	20.3%
21年度 (n=218,196)	9.9%	9.5%	10.6%	10.4%	14.2%	24.4%	21.1%
20年度 (n=218,774)	10.2%	9.9%	10.5%	10.1%	14.7%	24.2%	20.5%
19年度 (n=368,429)	10.9%	9.7%	10.3%	10.2%	16.4%	22.8%	19.8%

3圏域計・年間外食回数ベース（回）、補正後の件数

2023年度の外食市場⑧

■ 外食した場所

「地元」での外食が高止まり。22年度比では再び増加傾向。

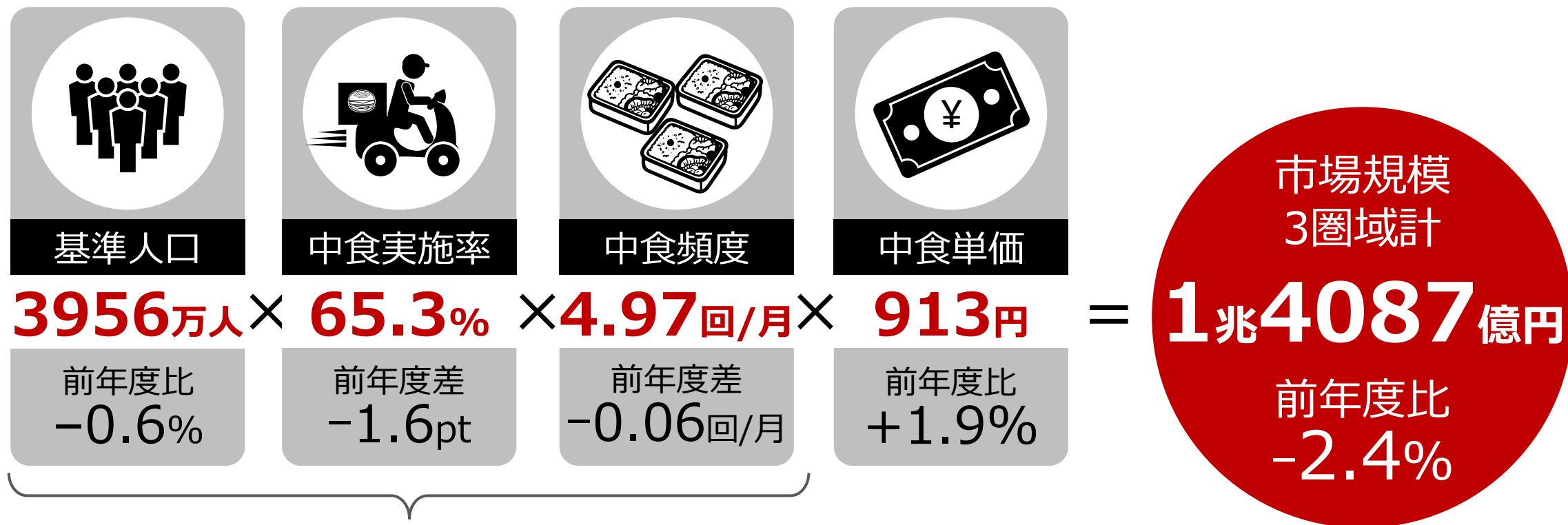


※地元の定義・・・外食した店の最寄り駅を一定の条件でくり、タウンを設定した上で、タウンのコア駅が所在する市区町村と同じ市区町村に住む人による外食を「地元での外食」とした

3圏域計・年間外食回数ベース（回）、補正後の件数

2023年度の中食市場①

■ 2023年度の中食市場（3圏域計、夕食）はコロナ禍前比+15.6%



延べ中食購入回数 15億4227万回
(前年度比 -4.2% ※18年度比-0.4%)

※18年度比+15.6%

※昨年度は19年度を[コロナ禍前]として比較していたが、厳密には19年2～3月はコロナ禍の影響を受けていることから、今年度は、18年度を[コロナ禍前]として比較している

本日お話しすること

1

2023年度（2023年4月～2024年3月）
外食＆中食市場まとめ（「外食市場調査」より）

2

2024年度4～7月外食＆中食市場最新動向
（「外食市場調査」より）

3

飲酒市場、コロナ禍前後および中期経年比較
（「外食市場調査」再集計より）

最新の外食市場①

■ 2024年4～7月計の外食市場規模は19年同期比-13.6%

外食市場		24年 4月	19年 同月比	24年 5月	19年 同月比	24年 6月	19年 同月比	NEW! 24年 7月	19年 同月比	NEW! 24年 4-7月計	前年 同期比	19年 同期比
3 圏 域 計	基準人口（万人）	3944	-4.0%	3944	-4.0%	3944	-4.0%	3944	-4.0%	3944	-0.3%	-4.0%
	外食実施率（%）	68.3	-8.2pt	69.2	-7.3pt	67.5	-8.3pt	67.6	-8.4pt	68.2	+1.2pt	-8.0pt
	外食頻度（回）	3.73	-0.45回	3.75	-0.46回	3.77	-0.41回	3.85	-0.38回	15.10	+0.02回	-1.70回
	外食単価（円）	2,909	+305円	2,892	+448円	2,833	+266円	2,839	+207円	2,868	+132円	+306円
	延べ外食回数（万回）	10061	-23.5%	10241	-22.7%	10031	-22.9%	10269	-22.3%	40603	+1.6%	-22.9%
	外食市場規模（億円）	2,927	-14.6%	2,962	-8.5%	2,842	-14.9%	2,915	-16.2%	11,646	+6.6%	-13.6%

性年代別 延べ外食回数		24年 4月	19年 同月比	24年 5月	19年 同月比	24年 6月	19年 同月比	NEW! 24年 7月	19年 同月比	NEW! 24年 4-7月計	前年 同期比	19年 同期比
3 圏 域 計	男性/20代（万回）	1192	-8.5%	1051	-21.8%	1207	-15.1%	1180	-9.3%	4629	+4.7%	-13.8%
	男性/30代（万回）	1135	-29.9%	1146	-28.1%	1138	-31.5%	1136	-27.5%	4555	+0.6%	-29.3%
	男性/40代（万回）	1343	-27.0%	1331	-28.1%	1396	-26.5%	1346	-26.9%	5416	-3.4%	-27.1%
	男性/50代（万回）	1279	-15.2%	1321	-9.5%	1284	-3.6%	1350	-10.4%	5233	+8.0%	-9.9%
	男性/60代（万回）	848	-28.5%	930	-27.2%	854	-32.0%	872	-37.0%	3504	-2.3%	-31.3%
	女性/20代（万回）	1069	-17.7%	1008	-24.7%	1065	-15.2%	1070	-20.9%	4212	+4.9%	-19.7%
	女性/30代（万回）	886	-21.9%	879	-25.5%	785	-27.1%	851	-26.4%	3402	-2.9%	-25.2%
	女性/40代（万回）	858	-31.4%	975	-21.8%	868	-28.3%	904	-24.1%	3604	-0.2%	-26.4%
	女性/50代（万回）	818	-14.7%	963	+0.1%	802	-13.2%	942	+1.1%	3525	+7.6%	-6.7%
	女性/60代（万回）	634	-40.1%	637	-35.9%	633	-35.1%	619	-37.3%	2523	-1.3%	-37.1%

最新の中食市場①

■ 同中食市場規模は前年同期比+0.2%、19年同期比+14.7%

中食市場		24年 4月	19年 同月比	24年 5月	19年 同月比	24年 6月	19年 同月比	NEW! 24年 7月	19年 同月比	NEW! 24年 4-7月計	前年 同期比	19年 同期比
3 圏 域 計	基準人口（万人）	3944	-4.0%	3944	-4.0%	3944	-4.0%	3944	-4.0%	3944	-0.3%	-4.0%
	中食実施率（%）	63.9	+0.6pt	63.8	-0.2pt	63.8	+0.9pt	63.6	-0.5pt	63.8	-1.6pt	+0.2pt
	中食頻度（回）	5.01	+0.08回	5.02	+0.15回	5.00	+0.13回	5.16	+0.28回	20.19	+0.16回	+0.63回
	中食単価（円）	884	+113円	909	+127円	884	+123円	903	+114円	895	+20円	+119円
	延べ中食回数（万回）	12624	-1.6%	12649	-1.4%	12579	+0.1%	12931	+0.5%	50783	-2.0%	-0.6%
	中食市場規模（億円）	1116	+12.8%	1150	+14.7%	1112	+16.2%	1168	+14.9%	4545	+0.2%	+14.7%

性年代別 延べ中食回数		24年 4月	19年 同月比	24年 5月	19年 同月比	24年 6月	19年 同月比	NEW! 24年 7月	19年 同月比	NEW! 24年 4-7月計	前年 同期比	19年 同期比
3 圏 域 計	男性/20代（万回）	1167	+6.4%	1176	+16.9%	1100	+8.0%	1221	+20.9%	4664	+6.1%	+12.9%
	男性/30代（万回）	1244	-1.8%	1294	-8.6%	1161	-6.9%	1313	-6.0%	5012	-8.9%	-5.9%
	男性/40代（万回）	1544	-19.9%	1752	-4.4%	1643	-2.7%	1746	+0.1%	6685	-2.0%	-7.1%
	男性/50代（万回）	1809	+20.2%	1766	+19.1%	1755	+12.5%	1852	+25.8%	7182	+0.4%	+19.3%
	男性/60代（万回）	1291	-4.0%	1191	-3.6%	1380	+3.2%	1282	-8.6%	5143	-2.0%	-3.3%
	女性/20代（万回）	773	-13.8%	809	-15.3%	876	-2.7%	830	-16.5%	3288	-3.8%	-12.2%
	女性/30代（万回）	1022	-3.0%	949	-10.0%	932	-8.7%	926	-8.0%	3829	-2.6%	-7.4%
	女性/40代（万回）	1262	-8.9%	1262	-1.1%	1182	-8.9%	1258	-7.2%	4965	-3.4%	-6.6%
	女性/50代（万回）	1408	+26.1%	1370	+4.7%	1428	+20.0%	1406	+13.2%	5613	+0.1%	+15.5%
	女性/60代（万回）	1104	-10.7%	1080	-14.0%	1121	-14.2%	1097	-12.0%	4402	-4.6%	-12.7%

本日お話しすること

1

2022年度（2022年4月～2023年3月）
外食＆中食市場まとめ（「外食市場調査」より）

2

2023年度4～7月外食＆中食市場最新動向
（「外食市場調査」より）

3

飲酒市場、コロナ禍前後および中期経年比較
（「外食市場調査」再集計より）

飲酒市場に注目する理由

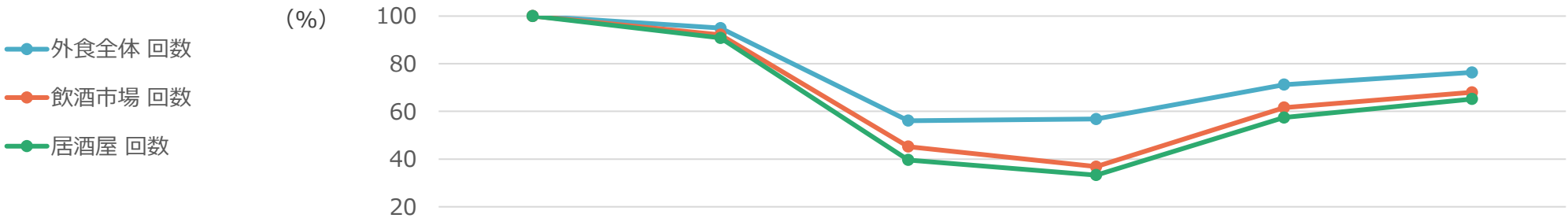
直近の飲酒市場の環境と経済への影響

- コロナ禍からの立ち直りが遅い（食事主体は9割まで回復しているが、飲酒主体はまだ7割）
- 単価が高い（食事主体：2,720円、飲酒主体：4,037円）ため、外食市場規模に与える影響が大きい
- 単価の上昇幅が外食全体に比べ大きい
- 減り続ける酒類製成数量（1999年がピーク）。産業として日本経済への影響が大きい
- 社会の変化により、飲酒を巡る価値観や行動が多様化（付き合い飲みの減少、ソバーキュリアス、昼飲み、etc.）し、新たなフェイズに入った



飲酒市場の概況①

■ 外食全体、飲酒市場、居酒屋における単価および外食回数の推移
外食全体の回数が18年度比76.3%まで戻ったのに対し、飲酒を伴った外食の回数は同68.0%と戻りが鈍い。一方、単価は飲酒を伴った外食の伸びが大きく、高付加価値化が進んでいる。



外食全体、飲酒市場、居酒屋における 単価および外食回数の推移（年間の平均）		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
外食全体	単価（円）	2,589	2,585	2,414	2,387	2,690	2,828
	対18年度比	100.0%	99.9%	93.3%	92.2%	103.9%	109.2%
	回数（万回）	159735	151649	89596	90669	113653	121945
	対18年度比	100.0%	94.9%	56.1%	56.8%	71.2%	76.3%
飲酒市場 （飲酒を伴った外食）	単価（円）	3,964	4,031	4,015	4,231	4,344	4,512
	対18年度比	100.0%	101.7%	101.3%	106.7%	109.6%	113.8%
	回数（万回）	72937	67179	32977	26873	44894	49605
	対18年度比	100.0%	92.1%	45.2%	36.8%	61.6%	68.0%
居酒屋	単価（円）	3,508	3,559	3,431	3,535	3,695	3,856
	対18年度比	100.0%	101.4%	97.8%	100.8%	105.3%	109.9%
	回数（万回）	26862	24391	10647	8945	15417	17509
	対18年度比	100.0%	90.8%	39.6%	33.3%	57.4%	65.2%

3圏域計

飲酒市場の概況②

■ 飲酒ありの外食実施率が18年度比で下がり、頻度はそこまでは減っていない
→ 飲まない人が増え、飲む人は飲み続けている（ライトユーザーの離脱）

30代男性、50・60代女性などで特に飲まない人が増え、頻度はそれほど下がっていない。
20代男女は離脱率が低く、頻度が落ちている。他の年代と違う動きがみられた。
ライトユーザーの離脱は、単価が外食全体より上がり幅が大きいことにも影響か。

飲酒ありの外食実施者（％）	月間平均 （全体）	男性					女性				
		20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代
2018年度	48.8%	51.2%	53.5%	51.5%	54.8%	55.5%	53.6%	43.2%	40.6%	43.5%	42.6%
2023年度	38.1%	42.7%	39.7%	39.9%	41.3%	44.4%	46.1%	35.2%	31.8%	31.7%	31.3%
18年度対23年度	-21.8%	-16.7%	-25.9%	-22.4%	-24.6%	-20.0%	-14.1%	-18.5%	-21.7%	-27.1%	-26.7%

飲酒ありの外食の平均回数 （回/1カ月当たり） ※ 飲酒ありの外食実施者のみ	月間平均 （全体）	男性					女性				
		20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代
2018年度	3.01	3.07	3.19	3.28	3.66	3.34	3.16	2.77	2.52	2.49	2.24
2023年度	2.74	2.63	3.06	2.93	3.14	3.08	2.57	2.66	2.37	2.41	2.20
18年度対23年度	-8.9%	-14.4%	-3.9%	-10.5%	-14.4%	-7.9%	-18.8%	-4.0%	-6.0%	-2.9%	-1.8%

3圏域計

飲酒市場の概況③

■ 飲酒を伴う外食における業態別構成比の推移（大分類）

飲酒は「飲酒主体業態」の店で行うことが特に減り、「食事主体業態」の店のシェアが上昇。

飲酒を伴う外食における業態別シェア（縦計100%）		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
3圏域計 年間		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
大分類	食事主体業態の店	52.1	52.8	59.8	59.1	57.5	56.6
	飲酒主体業態の店	42.9	42.3	36.9	37.4	39.3	40.0
	軽食主体業態の店	1.0	1.0	0.8	0.8	0.6	0.7
	その他の業態の店	4.0	3.9	2.4	2.6	2.5	2.6

…18年度比で3pt以上増加 3圏域計

飲酒市場の概況④

■ 飲酒を伴う外食を行った業態（抜粋）

18年度→23年度で「アジア料理店」「中華料理店」「焼肉、ステーキ等」で飲む機会が増加。

飲酒を伴う外食における 業態別シェア		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
食事主体	和食料理店 (すし、割烹、料亭、郷土料理専門店等)	11.9	11.8	12.9	13.1	12.9	12.5	23年度/18年度 増加率トップ3 —— 116.9% —— 126.3% —— 114.5%	
	中華料理店 (ラーメン専門店を除く)	6.5	6.7	7.2	7.1	7.3	7.6		
	アジア料理店	1.9	1.9	2.2	2.2	2.2	2.4		
	焼肉、ステーキ、ハンバーグ等の専門店	8.3	8.6	11.0	11.0	10.0	9.5		
	ファミリーレストラン、回転すし等	4.7	5.1	6.4	5.8	5.3	5.3		
飲酒主体	居酒屋 (焼鳥、串焼き、串揚げ等、飲酒メインの業態を含む)	35.5	35.0	30.6	30.9	32.8	33.8		
	バー、バル、ワインバー、ビアホール、パブ	5.1	5.1	4.5	4.1	4.4	4.2		

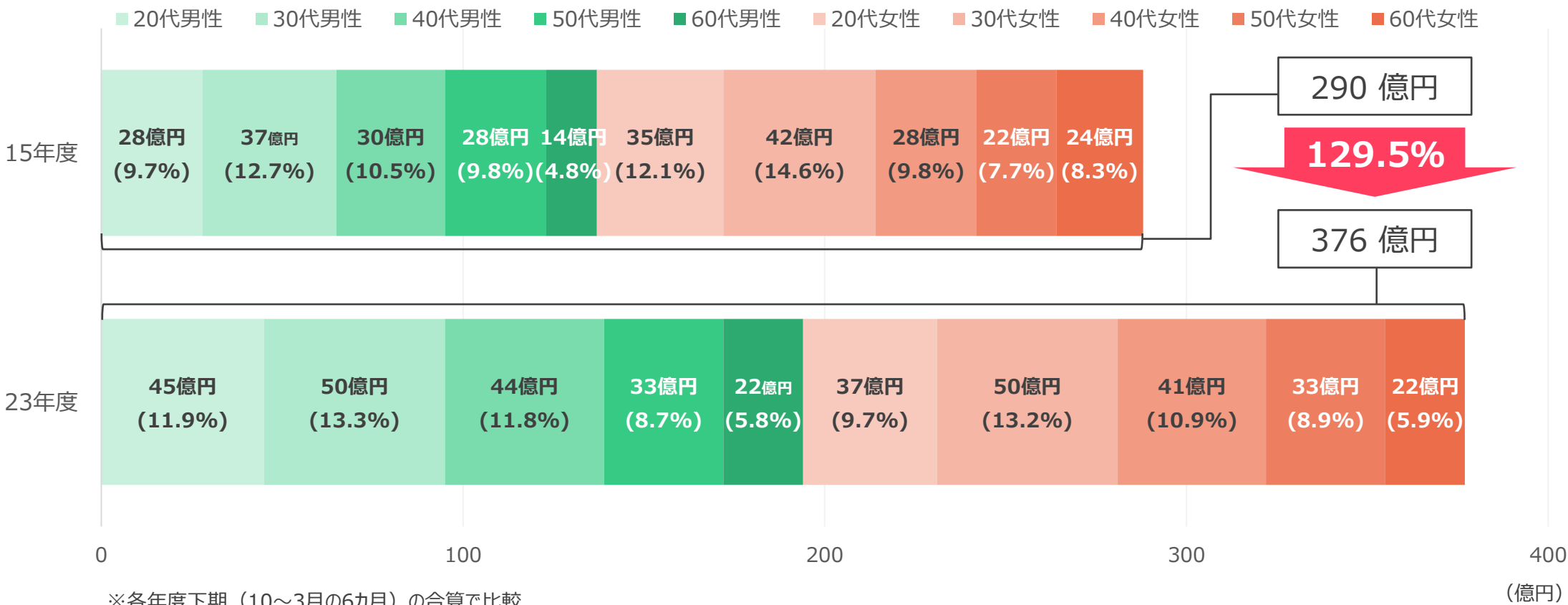
※食事主体業態は、18年度比で0.5pt以上の増加があった業態を掲載

…18年度比で0.5pt以上増加 3圏域計

飲酒市場の概況⑤-1

■ アジアン料理店市場規模、性年代別構成（15年度比）

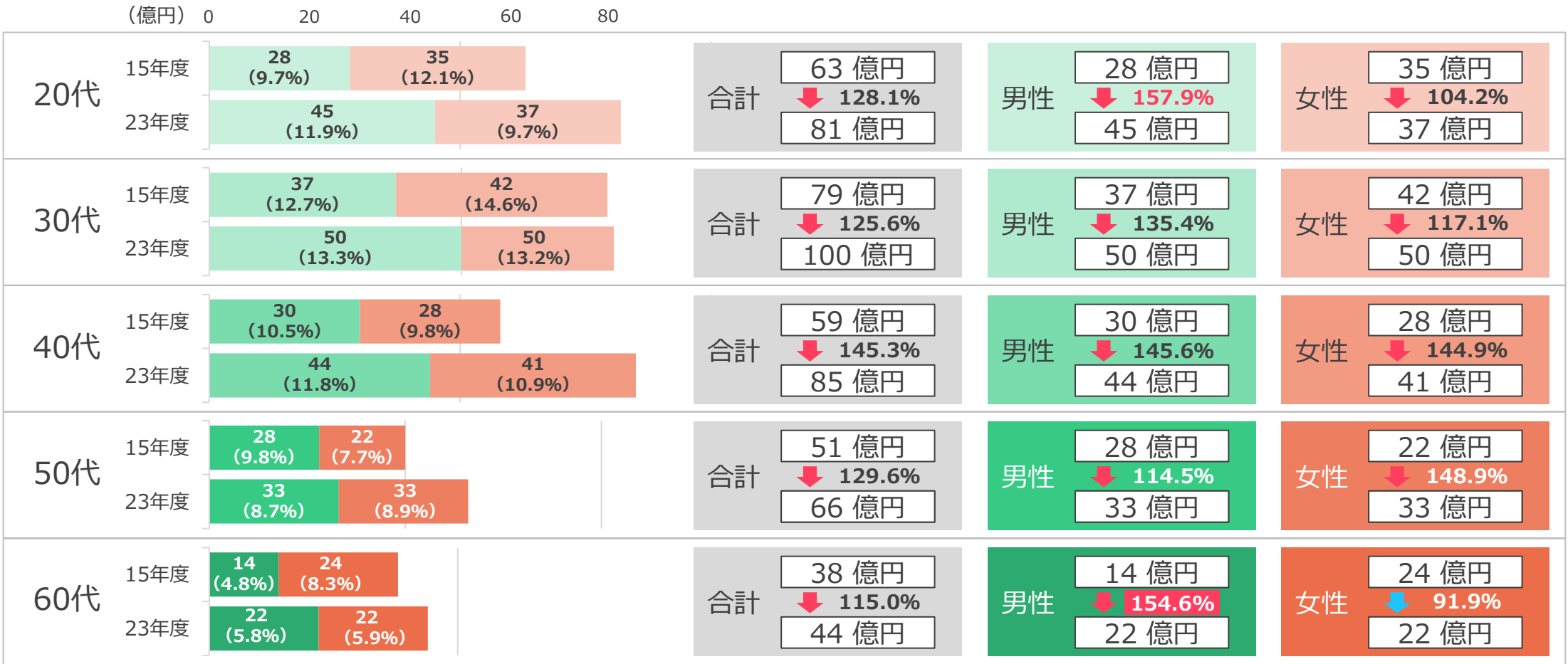
アジアン料理店の市場規模は8カ年度で約3割増加。



飲酒市場の概況⑤-2

■ アジアン料理店市場規模、性年代別構成（15年度比）

アジアン料理店は男性（特に20代、60代）で売り上げの伸びが顕著である。

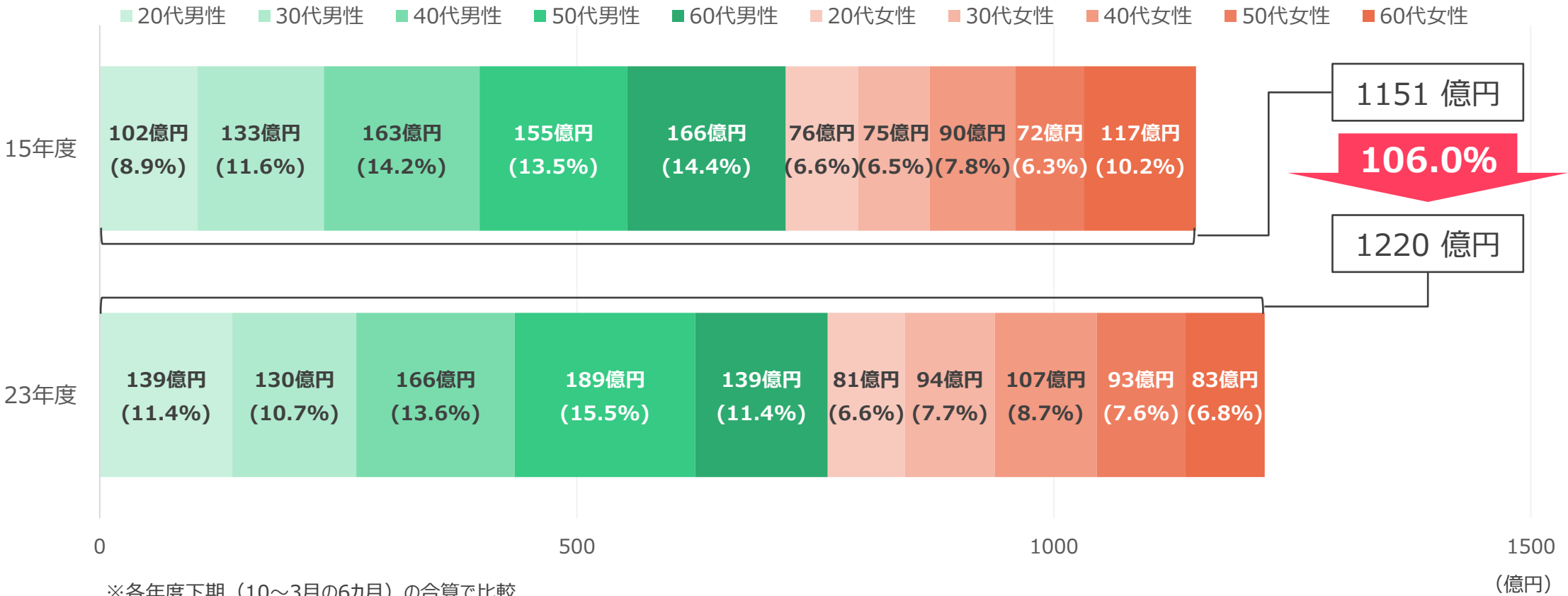


※各年度下期（10～3月の6カ月）の合算で比較

飲酒市場の概況⑥-1

■ 中華料理店市場規模、性年代別構成（15年度比）

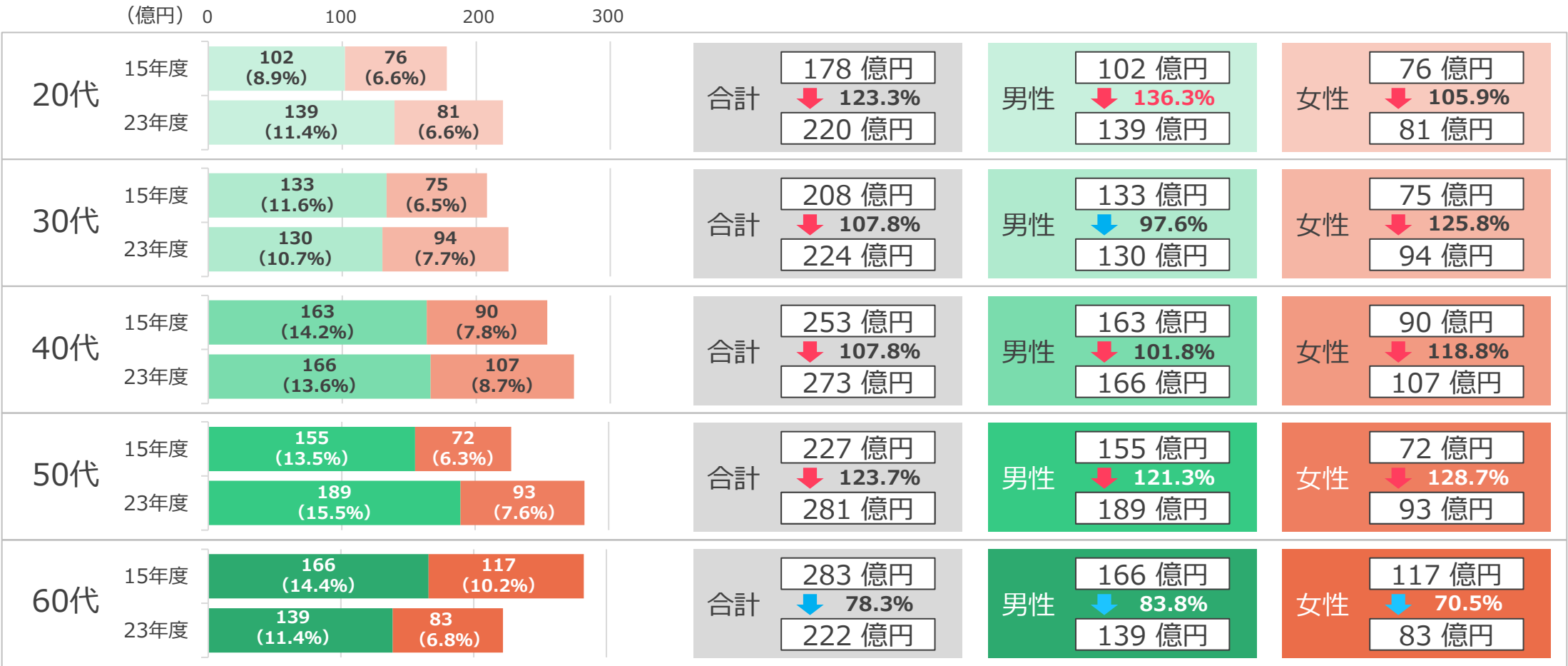
中華料理店の市場規模は中期的には緩やかな増加。



飲酒市場の概況⑥-2

■ 中華料理店市場規模、性年代別構成（15年度比）

中華料理店は男性20代で売り上げの伸びが顕著である。

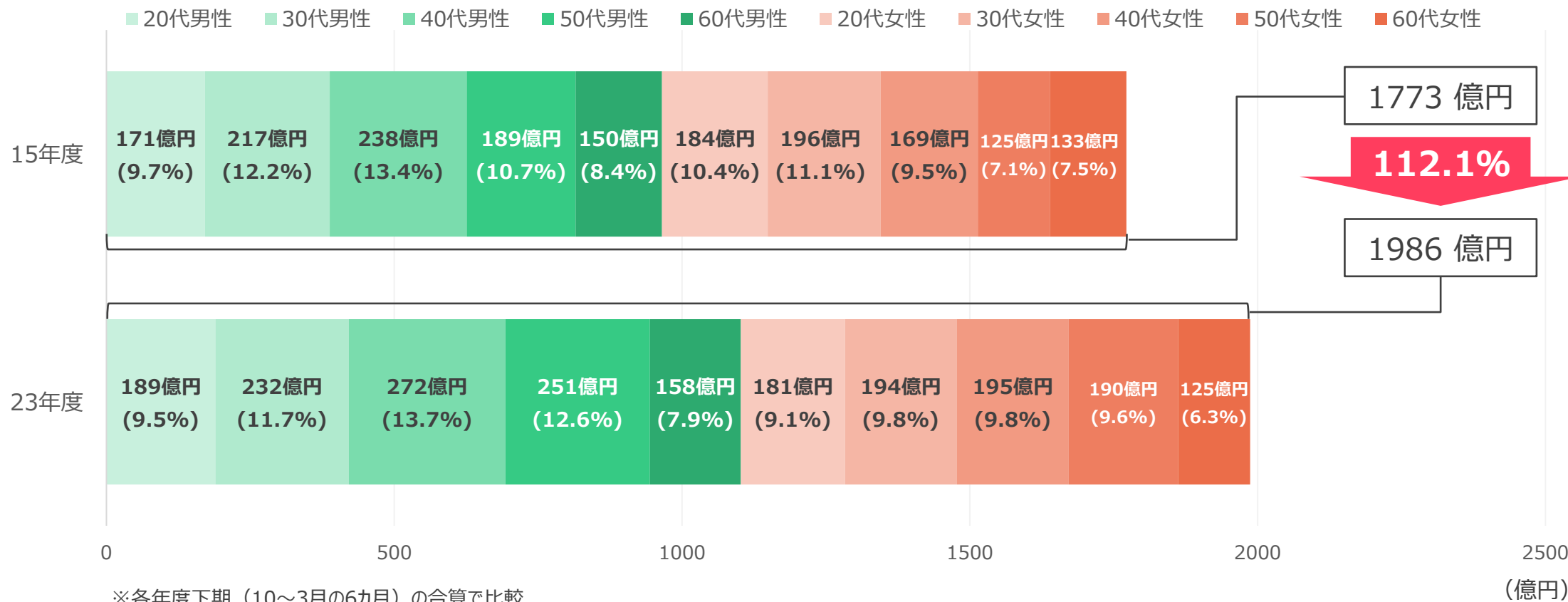


※各年度下期（10～3月の6カ月）の合算で比較

飲酒市場の概況⑦-1

■ 焼肉、ステーキ、ハンバーグ等の専門店市場規模、性年代別構成（15年度比）

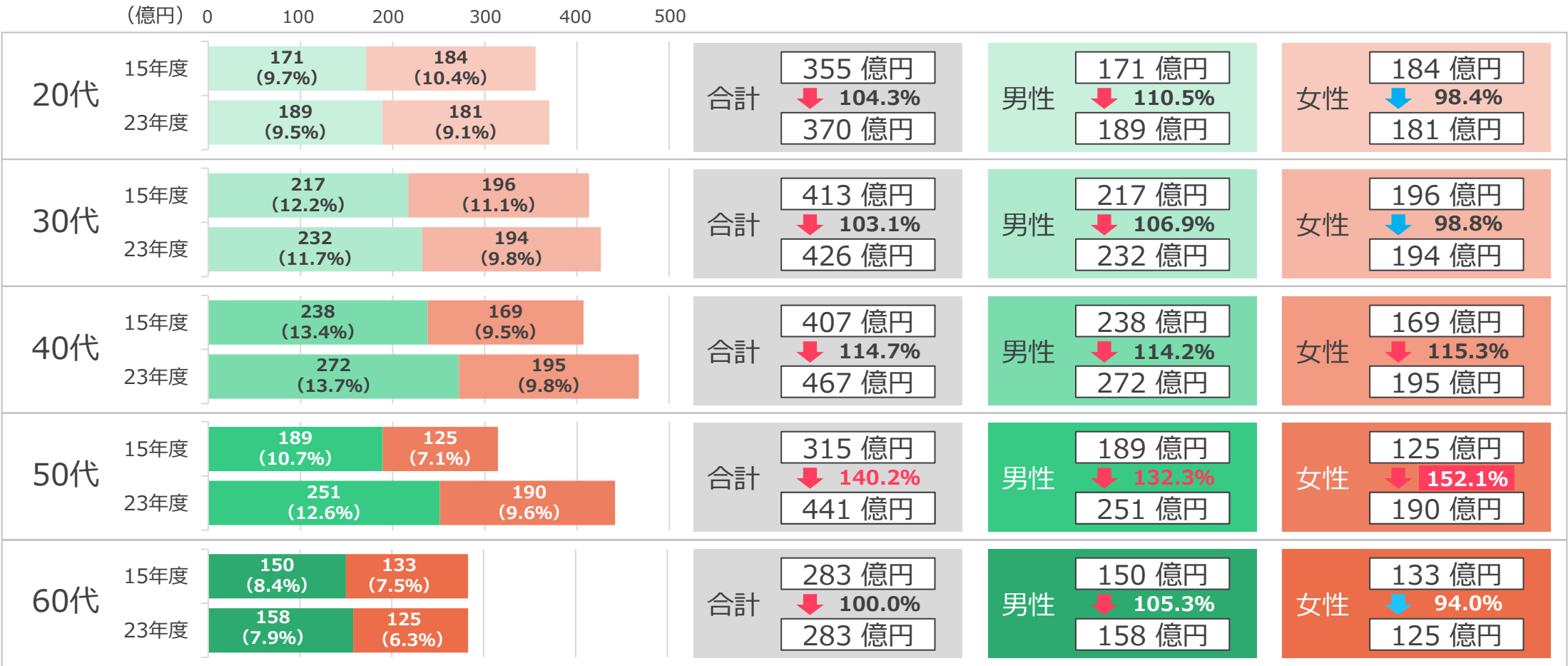
焼肉、ステーキ、ハンバーグ等の専門店の市場規模は8カ年度で約12%増加。



飲酒市場の概況⑦-2

■ 焼肉、ステーキ、ハンバーグ等の専門店市場規模、性年代別構成（15年度比）

焼肉、ステーキ、ハンバーグ等の専門店は人口増加の顕著な50代で売り上げを伸ばした。

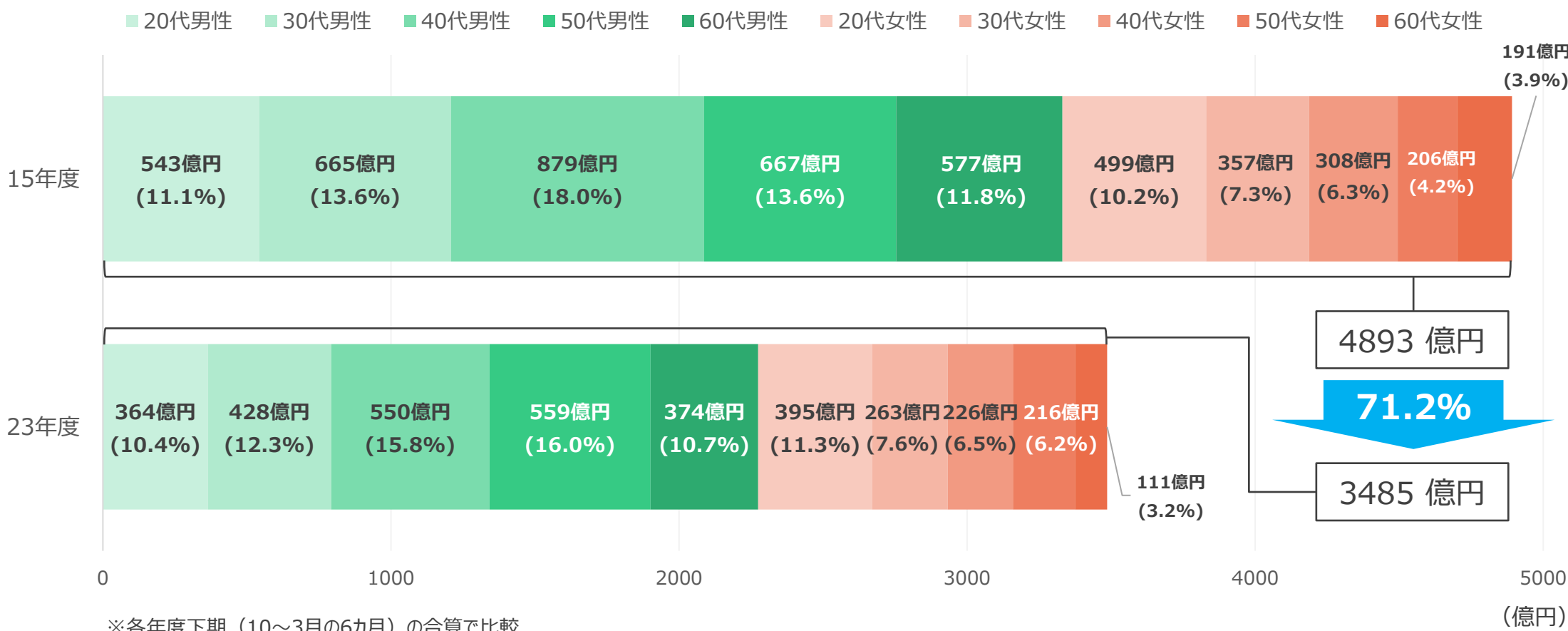


※各年度下期（10～3月の6カ月）の合算で比較

飲酒市場の概況⑧-1

■ 居酒屋の市場規模、性年代別構成（15年度比）

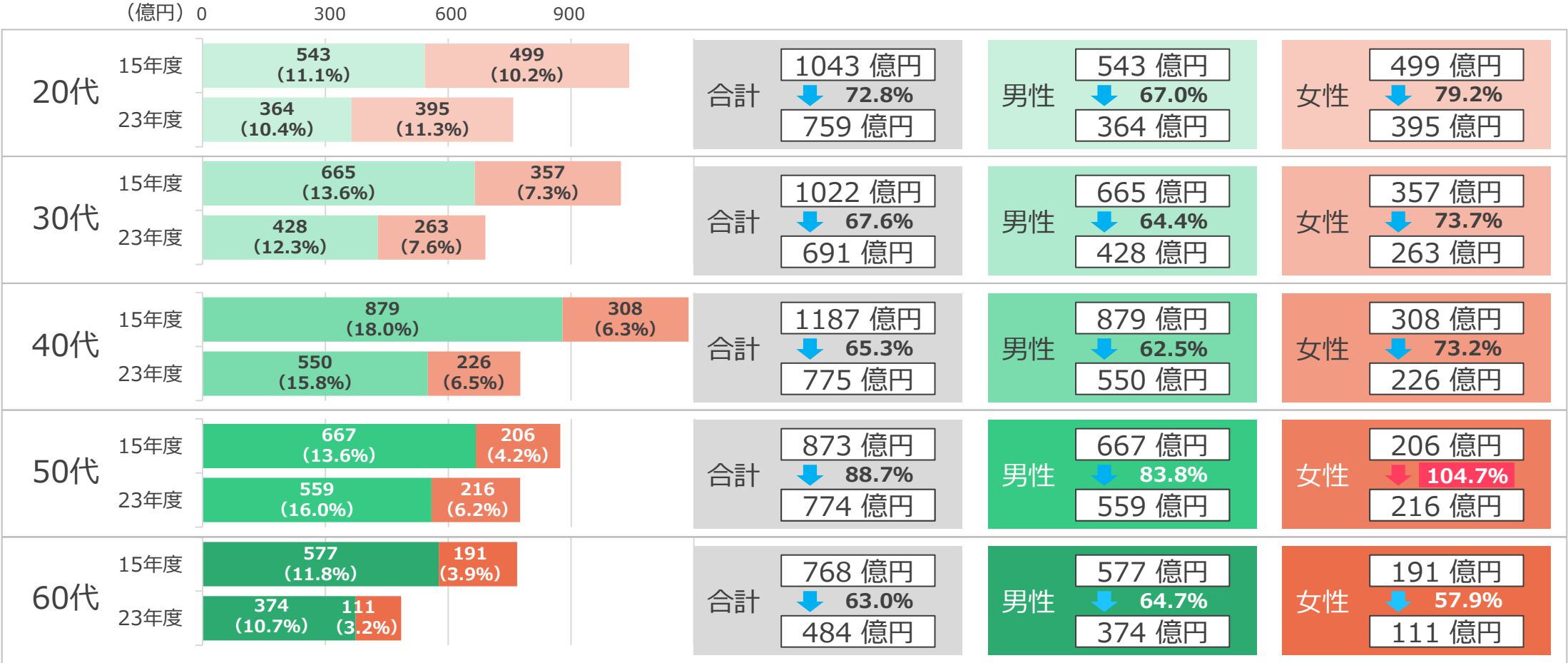
居酒屋の市場規模は8カ年度で約29%減少。



飲酒市場の概況⑧-2

■ 居酒屋市場規模、性年代別構成（15年度比）

居酒屋は人口増加影響で50代女性では好調、20代では男女の売り上げが逆転。



※各年度下期（10～3月の6カ月）の合算で比較

飲酒市場、コロナ禍前後および中期経年比較まとめ①

2015年度→2023年度・世の中の変化による飲酒市場の2大変化

世の中の変化

働き方の変化

多様な雇用形態、
付き合い飲みや
接待の減少

アルコール ダイバシティの浸透

飲む自由と
飲まない自由

コロナ禍を通じての 生活習慣の変化

夜型→朝型、
ソバーキュリアスなど

節約志向

節約とその反動で、
たまのぜいたくとしての外食



飲酒シーンの変化

① 飲酒ライトユーザーの市場からの離脱

飲む人と飲まない人の二極化。ただし、せっかく外食するなら
おいしいものが食べたいというニーズは同じ

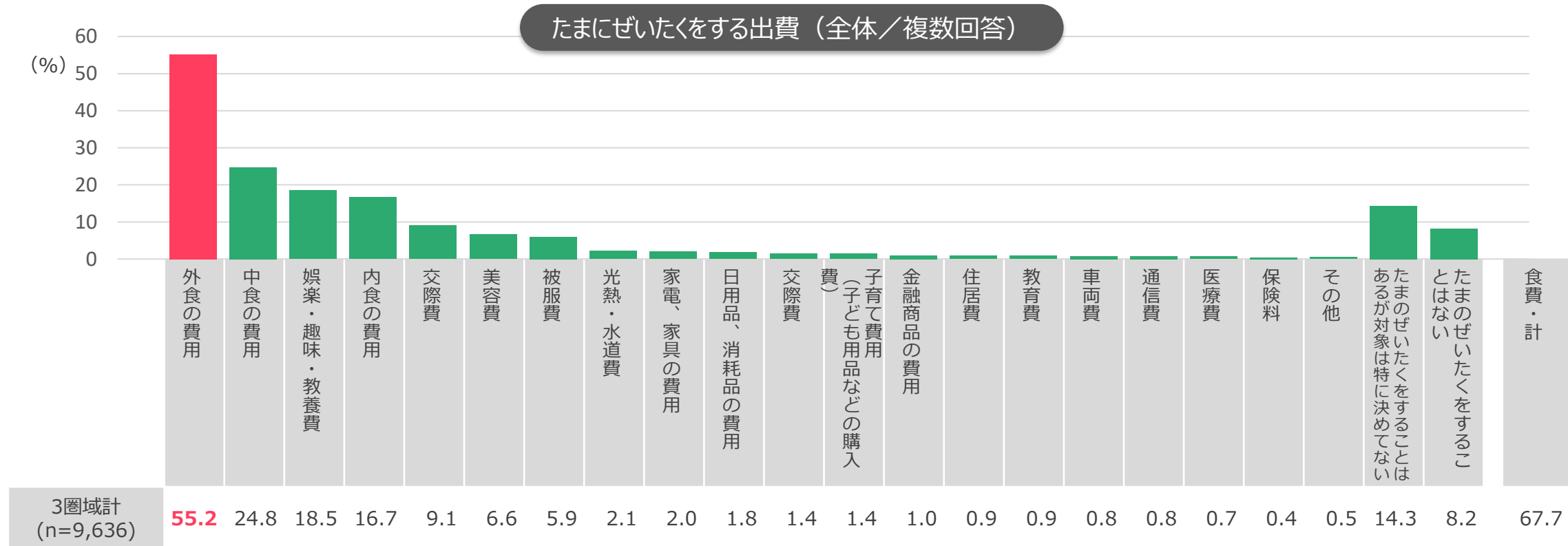
② 飲酒場所の変化

食事主体業態での飲酒の増加

飲酒市場、コロナ禍前後および中期経年比較まとめ②

節約志向と「たまのぜいたくとしての外食」

■ 節約志向は、外食市場にとっては必ずしもマイナス要因であるとは限らない



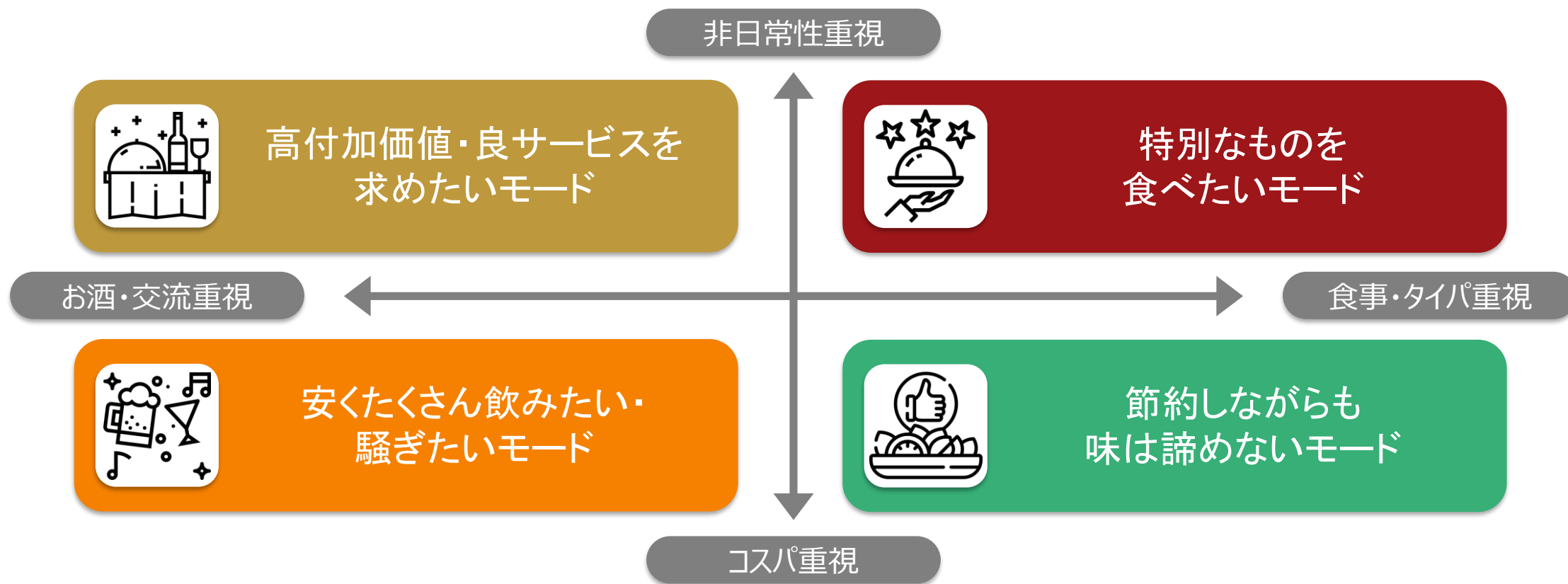
※2024年1月調査 有効回答数9,636（首都圏5,582、関西圏2,599、東海圏1,454、各ウエイトバック後件数）

※調査結果は、令和3年人口推計（総務省）における割付（性年代別10区分×地域別25区分＝250セル）別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウエイトバック集計を行っている

今後の外食の価値向上の方向性

今後の外食シーンで重要な消費者の4つの欲求モード

■ どの欲求に対して価値を提供するのか？ ポジションが中途半端なお店は苦戦？

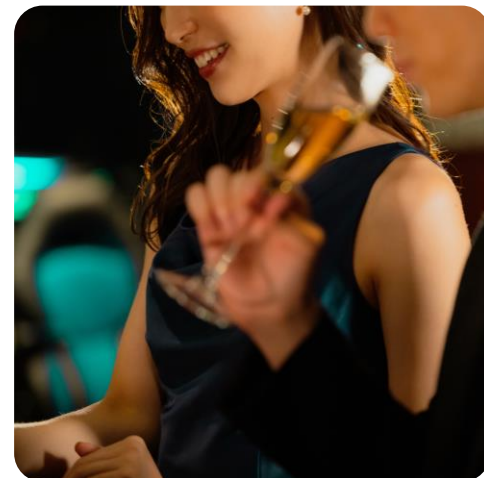




ありがとうございました



外食総研セミナー2024



第2部

-「飲みたい街・飲んでいる街ランキングレポート」

「飲みたい街」「飲んでいる街」ランキングとは？

- 一般消費者に対する調査で、年に一度実施している人気企画(※1)
- 本セミナーでは一部、2019年以降のデータとの経年比較を採用している

● 調査概要

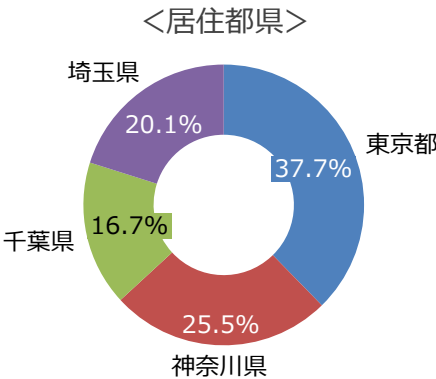
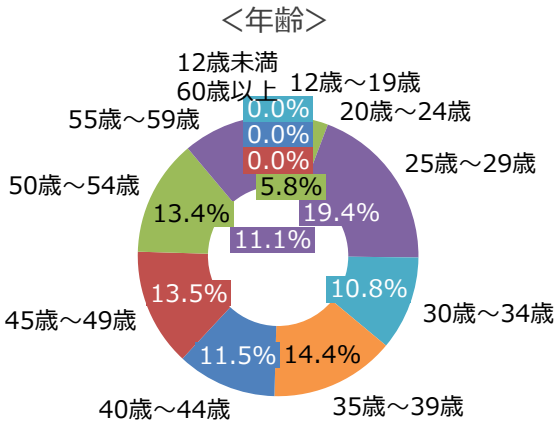
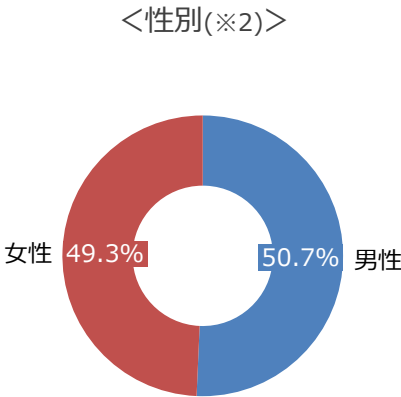
調査名	飲みたい街・飲んでいる街ランキング	
調査会社	株式会社マクロミル	
調査概要	調査範囲	関東4都県（東京・神奈川・千葉・埼玉）
	サンプル数	2,858 ※過去1年間で1回以上、飲酒を伴う外食をしたことがある人が対象
調査時期	2024年8月9日～12日	
備考	・ 回答選択肢「その他の都道府県」「東京都その他」「神奈川県その他」「千葉県その他」「埼玉県その他」を除いて集計 ・ 選択肢の数…東京都 66 / 神奈川県 40 / 千葉県 48 / 埼玉県 43	

● 参考）飲みたい街ランキング2023年

順位	街名	得点	2022年順位	
1	新宿（東京都）	773	1	→
2	横浜駅（神奈川県）	565	3	↑
3	銀座（東京都）	554	2	↓
4	東京駅周辺（東京都）	518	4	→
5	池袋（東京都）	450	10	↑
6	新橋（東京都）	434	5	↓
7	上野（東京都）	399	6	↓
8	恵比寿（東京都）	397	9	↑
9	渋谷（東京都）	372	14	↑
10	赤羽（東京都）	370	12	↑

順位	街名	得点	2022年順位	
1	梅田（大阪府）	1,125	1	→
2	三宮駅周辺（兵庫県）	467	2	→
3	難波（大阪府）	355	3	→
4	お初天神（大阪府）	318	4	→
5	天満（大阪府）	280	6	↑
6	河原町（京都府）	271	5	↓
7	天王寺（大阪府）	245	8	↑
8	京橋（大阪府）	203	12	↑
9	福島・新福島（大阪府）	175	7	↓
10	心斎橋（大阪府）	173	10	→

● 回答者属性



※1:2023年までは『ホットペッパーグルメ』編集部が実施、2024年は『ホットペッパーグルメ』外食総研が実施
※2:回答者が選択した性別

プロフィール



たなか なおき
田中 直樹

『ホットペッパーグルメ外食総研』
研究員

2008年	株式会社リクルート入社
2016年	アーバン2グループ(新宿周辺エリア) グループマネジャー
2018年	福岡飲食グループ グループマネジャー
2019年	神戸飲食グループ グループマネジャー
2020年	エリアマーケティングフォローセンターグループ(コールセンター) グループマネジャー
2024年現在	『ホットペッパーグルメ外食総研』上席研究員 兼 営業推進2グループ企画スタッフ

『ホットペッパーグルメ外食総研』では、DX調査や飲食店DX事例サイト運営をメインにつかさどり、多くのソリューション事例を収集し、社内・社外へ言語化、展開している。また、営業推進スタッフとしてナレッジマネジメントにも携わり、ソリューション営業への進化をサポートしている。飲みに行くのは専ら立ち飲みで、日常的に一人飲みも。

「飲みたい街」「飲んでいる街」ランキング_集計方法

- 条件に該当する街を選ぶ設問と、1～3位までを回答する設問の2種類がある
- 得点 or 得票数に応じた得点の合計が高い順にランキング化した

得点制のランキングの集計方法

Q.『●●な時に飲みたい街は？』

≡

A.各Qごとに1～3位まで街を選択

Rank	Town	Score
①	新宿	3pt
②	渋谷	2pt
③	銀座	1pt

順位に
応じて
スコアリング

合計点で
ランク化

得票数制のランキングの集計方法

Q.『実際に飲んだことのある街は？』

≡

A.各Qごとに街を選択(一部複数選択)

	Town	Score
単一選択	新宿	1pt
複数選択	渋谷	1pt
	銀座	1pt
	上野	1pt

得票数
= 得点

ご紹介するランキング

1

「飲みたい街ランキング」総合編

2

「飲みたい街ランキング」テーマ別編

3

「飲んでいる街ランキング」

ご紹介するランキング

1

「飲みたい街ランキング」総合編

2

「飲みたい街ランキング」テーマ別編

3

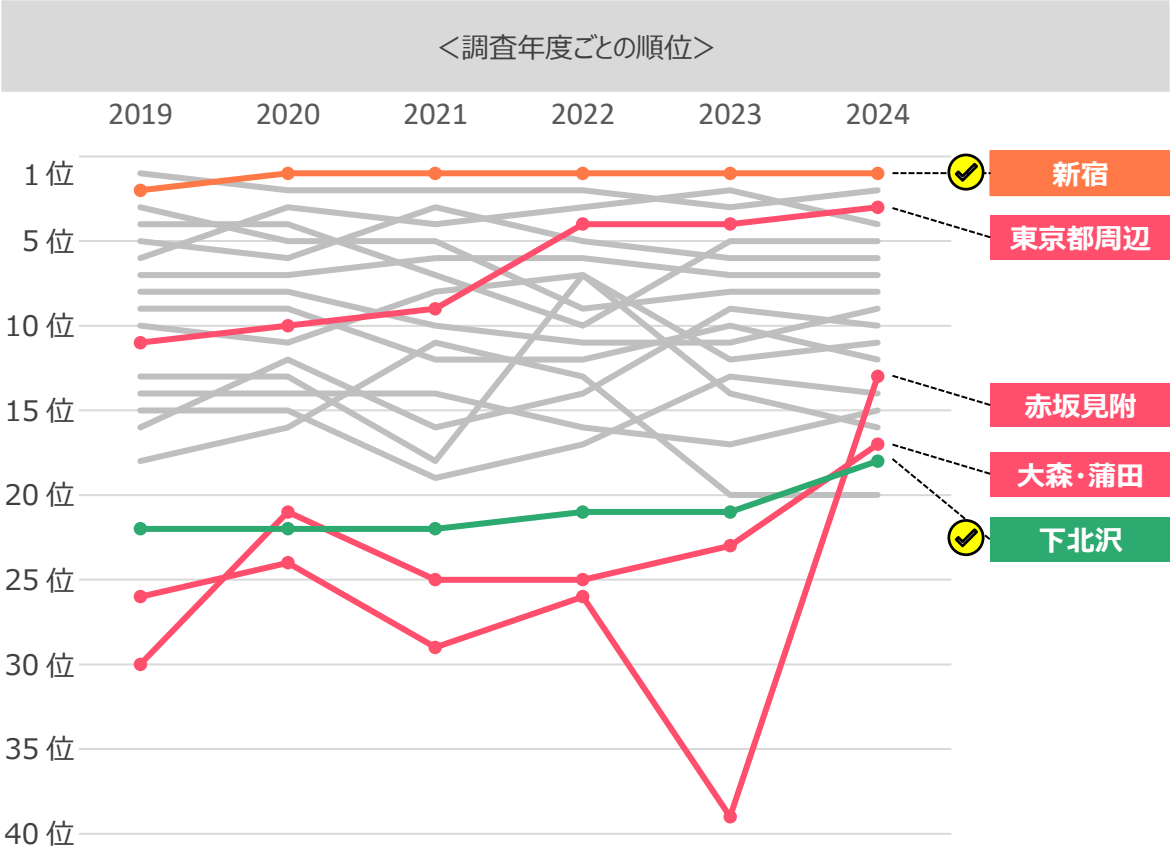
「飲んでいる街ランキング」

飲みたい街_総合(TOP 20)

- 総合1位は新宿で、5年連続となった
- 上昇傾向にあるのは東京駅周辺、赤坂見附、大森・蒲田。下北沢は2019年以降初めてTop20入り

…上昇傾向(2019年より順位が5ランク以上上昇、かつ2023年より順位が上昇)

順位	街	都県	得点
1	新宿	東京都	782
2	銀座	東京都	504
3	東京駅周辺	東京都	502
4	横浜駅周辺	神奈川県	467
5	池袋	東京都	440
6	新橋	東京都	417
7	上野	東京都	386
8	恵比寿	東京都	358
9	吉祥寺	東京都	339
10	渋谷	東京都	337
11	みなとみらい	神奈川県	311
12	赤羽	東京都	301
13	赤坂見附	東京都	286
14	大宮	埼玉県	279
15	有楽町	東京都	253
16	六本木	東京都	241
17	大森・蒲田	東京都	222
18	下北沢	東京都	205
19	浅草	東京都	201
20	横浜中華街	神奈川県	193

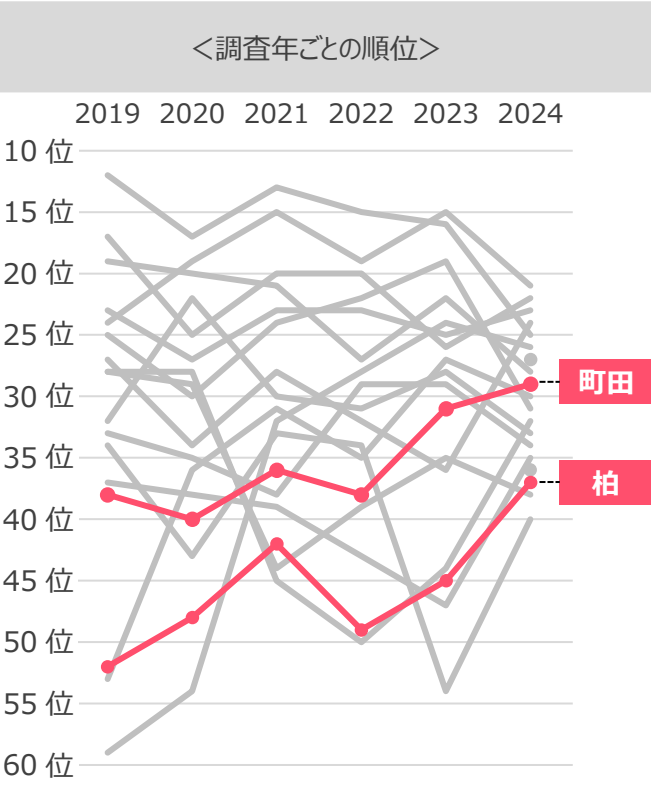


飲みたい街_総合(21~60位)

- 21位以下、60位圏内で上昇傾向にあるのは町田、柏、八王子、秋葉原、溝の口
- また、町田、柏、八王子、溝の口、五反田が過去最高位につけた

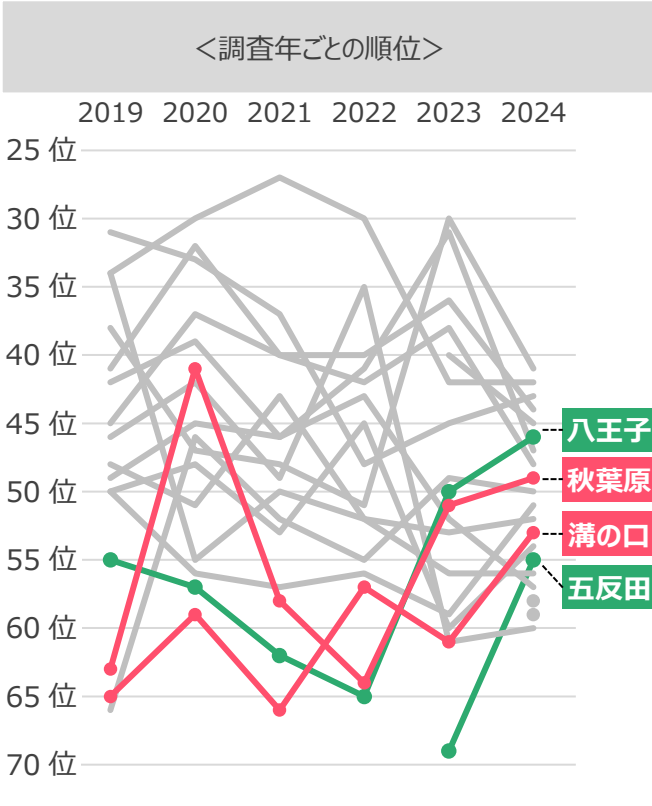
…上昇傾向(2019年より順位が5ランク以上上昇、かつ2023年より順位が上昇)

順位	街	都県	得点
21	野毛	神奈川県	174
22	北千住	東京都	173
22	立川	東京都	173
24	代官山	東京都	172
25	神楽坂	東京都	170
26	新大久保	東京都	160
26	亀戸	東京都	160
28	中目黒	東京都	158
✓ 29	町田	東京都	154
30	錦糸町	東京都	150
31	三軒茶屋	東京都	148
32	荻窪・西荻窪	東京都	144
32	船橋	千葉県	144
34	川崎	神奈川県	140
35	神田	東京都	139
35	浜松町	東京都	139
✓ 37	柏	千葉県	136
38	歌舞伎町	東京都	134
39	麻布十番	東京都	120
39	関内	神奈川県	120



…上昇傾向

順位	街	都県	得点
41	日本橋	東京都	118
42	表参道	東京都	115
43	中野	東京都	113
44	桜木町	神奈川県	110
45	月島	東京都	108
✓ 45	八王子	東京都	108
47	高円寺	東京都	105
47	自由が丘	東京都	105
47	秋葉原	東京都	105
50	品川・田町	東京都	104
51	台場	東京都	101
52	人形町	東京都	100
✓ 53	溝の口	神奈川県	98
✓ 54	二子玉川	東京都	96
✓ 54	五反田	東京都	96
54	目黒	東京都	96
57	川越	埼玉県	95
57	千葉駅周辺	千葉県	95
59	御茶ノ水	東京都	94
60	鎌倉	神奈川県	90



※亀戸、浜松町、御茶ノ水は今回の調査から新たに追加

飲みたい街_総合_注目の街(※)の選択理由コメント抜粋

- 注目の街にはアクセスやお店の選択肢といった利便性に関するコメントが見られた
- また、街の特徴を反映する「ごみごみしていない」「高級割烹」「昼から飲める」「下町」などのコメントも

街(抜粋)	順位	支持率が高い層(※)	コメントカテゴリ	コメント	回答者属性
新宿	1	全ての性年代	アクセスが便利	東京で働いている友人と合流しやすい	【千葉】男性_20代
			お店の選択肢が多い	歓楽街なので お店に困らない	【東京】女性_30代
			良いお店・おいしいお店がありそう	YouTubeでよく見る	【東京】女性_20代
			通い慣れている・行きつけがある	学生時代使っていたので、なじみがある	【東京】男性_30代
東京駅周辺	3	40代男性 50代男性 全年代の女性	アクセスが便利	おしゃれで一緒に飲みに行く人たちの 集まる中間地点 としても都合がいい	【東京】男性_20代
			良いお店・おいしいお店がありそう	普段行かないようなタイプの店があり、新鮮	【埼玉】女性_30代
			街の雰囲気	ごみごみしておらず歩いていてストレスが少ない	【東京】女性_50代
			通い慣れている・行きつけがある	過去に勤めていた職場周辺	【東京】女性_50代
赤坂見附	13	40代男性 50代男性 20代女性	アクセスが便利	本社があり、仕事帰りに行ける	【埼玉】男性_20代
			街の雰囲気	落ち着いた街で、良いお店が多くある	【埼玉】女性_40代
			憧れている	高級割烹 で飲んでみたい	【東京】男性_30代
大森・蒲田	17	30代男性	良いお店・おいしいお店がありそう	たくさんおいしいお店がありそう	【東京】男性_40代
			コスパが良いお店がありそう	安くて 昼から飲める	【埼玉】男性_20代
			街の雰囲気	ディープな街	【東京】男性_40代
下北沢	18	40代男性 50代男性	良いお店・おいしいお店がありそう	小さなこだわりのあるお店でおいしい所が多いイメージ	【埼玉】男性_40代
			コスパが良いお店がありそう	おしゃれで安い居酒屋が多そう	【東京】女性_30代
			街の雰囲気	飲食店が多く、 下町 のような雰囲気が好き	【神奈川】女性_20代

※該当の性年代における順位が10位以内

飲みたい街_都県別(TOP 10)

- ・ 神奈川、千葉、埼玉はそれぞれ横浜駅周辺、船橋、大宮が1位
- ・ 東京以外では横浜駅周辺と大宮が下位と100pt以上の差をつけての1位となった

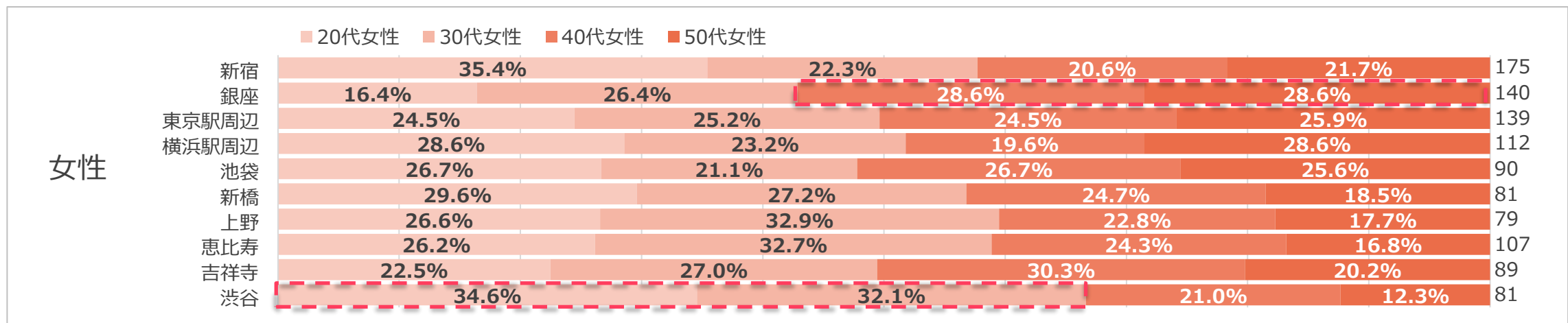
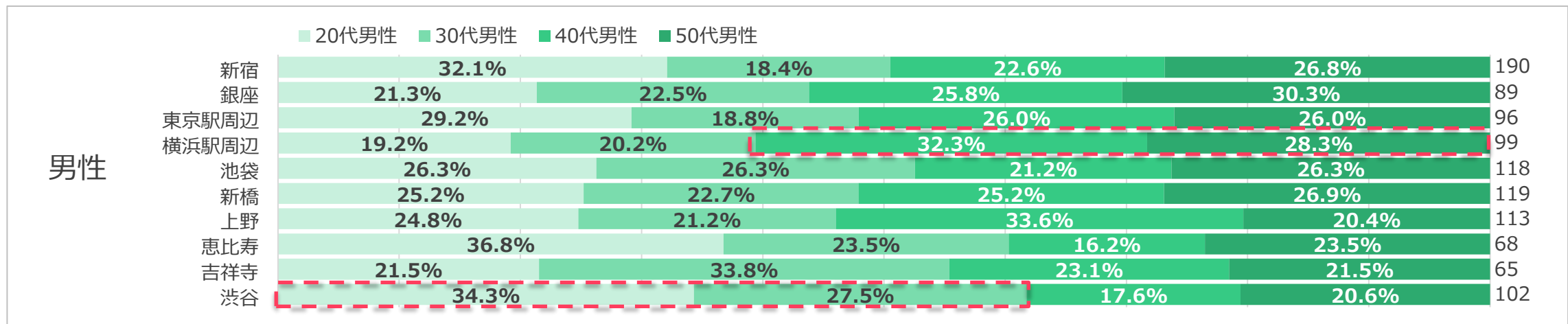
・・・2023年の順位との差が5ランク以上上昇

東京都				神奈川県				千葉県				埼玉県			
順位	街	得点	2023 順位	順位	街	得点	2023 順位	順位	街	得点	2023 順位	順位	街	得点	2023 順位
1	新宿	782	1	🟢 1	横浜駅周辺	467	1	🟢 1	船橋	144	1	🟢 1	大宮	279	1
2	銀座	504	2	2	みなとみらい	311	2	2	柏	136	3	2	川越	95	3
3	東京駅周辺	502	3	3	横浜中華街	193	4	3	千葉駅周辺	95	2	3	浦和	89	2
4	池袋	440	4	4	野毛	174	3	4	舞浜	60	4	4	さいたま新都心	86	-
5	新橋	417	5	5	川崎	140	5	5	西船橋	58	7	5	所沢	72	4
6	上野	386	6	6	関内	120	7	6	津田沼	51	6	6	川口	51	5
7	恵比寿	358	7	7	桜木町	110	6	7	松戸	45	5	7	越谷	45	12
8	吉祥寺	339	10	8	溝の口	98	8	8	稲毛	35	28	8	熊谷	43	8
9	渋谷	337	8	9	鎌倉	90	8	9	成田	34	17	9	春日部	33	17
10	赤羽	301	9	10	たまプラーザ	81	13	10	千葉中央	32	11	10	越谷レイクタウン	31	6

※さいたま新都心は今回の調査から新たに追加

飲みたい街_上位の街・投票者の属性(性別)

- 渋谷は20～30代のシェアが男女ともに最も高い
- 40～50代のシェアが最も高いのは男性では横浜駅周辺、女性では銀座であった



飲みたい街_投票者の世代別ランキング(TOP 10)

- 年代別に見ると、銀座の順位が年齢が上がるほど高くなる
- みなとみらいが20～30代のみ、有楽町・下北沢は50代でのみTop10入りした

・・・総合順位との差が5ランク以上高い ・・・総合順位との差が5ランク以上低い

20代全体					30代全体					40代全体					50代全体				
順位	街	都県	得点	総合順位	順位	街	都県	得点	総合順位	順位	街	都県	得点	総合順位	順位	街	都県	得点	総合順位
1	新宿	東京都	262	1	1	新宿	東京都	151	1	1	新宿	東京都	178	1	✓ 1	銀座	東京都	218	2
2	横浜駅周辺	神奈川県	141	4	✓ 2	銀座	東京都	148	2	✓ 2	銀座	東京都	162	2	2	新宿	東京都	191	1
3	池袋	東京都	115	5	3	東京駅周辺	東京都	127	3	3	東京駅周辺	東京都	142	3	3	東京駅周辺	東京都	138	3
3	新橋	東京都	115	6	4	恵比寿	東京都	116	8	4	横浜駅周辺	神奈川県	127	4	4	池袋	東京都	127	5
✓ 3	みなとみらい	神奈川県	115	11	5	横浜駅周辺	神奈川県	111	4	5	池袋	東京都	120	5	5	横浜駅周辺	神奈川県	123	4
6	上野	東京都	113	7	6	新橋	東京都	109	6	6	恵比寿	東京都	113	8	6	新橋	東京都	116	6
✓ 7	銀座	東京都	111	2	7	渋谷	東京都	106	10	7	上野	東京都	112	7	7	上野	東京都	92	7
8	吉祥寺	東京都	102	9	8	池袋	東京都	105	5	8	新橋	東京都	100	6	✓ 8	有楽町	東京都	89	15
9	東京駅周辺	東京都	97	3	✓ 9	みなとみらい	神奈川県	104	11	9	渋谷	東京都	91	10	9	赤坂見附	東京都	84	13
9	赤坂見附	東京都	97	13	10	吉祥寺	東京都	102	9	10	赤羽	東京都	86	12	✓ 10	下北沢	東京都	83	18

飲みたい街_投票者の個人年収別ランキング(TOP 10)

- 個人年収別で見ても、銀座の順位が年収と比例して如実に上がっている

■・・・総合順位との差が5ランク以上高い ■・・・総合順位との差が5ランク以上低い

400万円未満				
順位	街	都県	得点	総合順位
1	新宿	東京都	155	1
2	池袋	東京都	87	5
3	東京駅周辺	東京都	84	3
4	横浜駅周辺	神奈川県	78	4
5	上野	東京都	73	7
6	渋谷	東京都	72	10
7	吉祥寺	東京都	71	9
8	新橋	東京都	71	6
9	銀座	東京都	68	2
10	みなとみらい	神奈川県	61	11

400-800万円未満				
順位	街	都県	得点	総合順位
1	新宿	東京都	126	1
2	東京駅周辺	東京都	87	3
3	銀座	東京都	81	2
4	新橋	東京都	78	6
5	横浜駅周辺	神奈川県	76	4
6	池袋	東京都	75	5
7	上野	東京都	70	7
8	渋谷	東京都	68	10
9	恵比寿	東京都	53	8
10	みなとみらい	神奈川県	51	11

800-1200万円未満				
順位	街	都県	得点	総合順位
1	銀座	東京都	21	2
2	新宿	東京都	19	1
3	東京駅周辺	東京都	17	3
3	新橋	東京都	17	6
3	横浜駅周辺	神奈川県	17	4
6	赤坂見附	東京都	14	13
6	赤羽	東京都	14	12
8	上野	東京都	13	7
8	池袋	東京都	13	5
10	恵比寿	東京都	12	8

ご紹介するランキング

1

「飲みたい街ランキング」総合編

2

「飲みたい街ランキング」テーマ別編

3

「飲んでいる街ランキング」

初めて会う異性と飲みたい街_男女計(20～30代のみ)

- 総合ランキングより大きく順位を上げた(20ランク以上) のが表参道、台場、青山
- 男女ともTop20内、かつ男女で順位に8ランク以上差がついたのは代官山、赤坂見附

■・・・「総合ランキング」とのギャップが大きい(20ランク以上)

全体(20～30代のみ)				
順位	街	都県	得点	総合順位
1	新宿	東京都	212	1
2	恵比寿	東京都	175	8
3	東京駅周辺	東京都	162	3
4	渋谷	東京都	141	10
5	みなとみらい	神奈川県	132	11
6	銀座	東京都	125	2
7	横浜駅周辺	神奈川県	115	4
8	六本木	東京都	108	16
9	表参道	東京都	106	42
10	池袋	東京都	104	5
11	代官山	東京都	103	24
12	有楽町	東京都	97	15
13	台場	東京都	79	51
14	上野	東京都	77	7
15	赤坂見附	東京都	72	13
16	吉祥寺	東京都	68	9
16	中目黒	東京都	68	28
18	大宮	埼玉県	60	14
19	大森・蒲田	東京都	57	17
20	青山	東京都	52	80

■・・・男女ともTop20内かつ男女で順位差あり(8ランク以上)
※男性「高」・女性「低」

男性(20～30代のみ)				
順位	街	都県	得点	総合順位
1	新宿	東京都	105	1
2	渋谷	東京都	75	10
3	東京駅周辺	東京都	67	3
4	代官山	東京都	63	24
5	池袋	東京都	61	5
6	みなとみらい	神奈川県	60	11
7	恵比寿	東京都	57	8
8	銀座	東京都	50	2
8	横浜駅周辺	神奈川県	50	4
10	台場	東京都	48	51
11	赤坂見附	東京都	46	13
12	表参道	東京都	44	42
12	六本木	東京都	44	16
14	大森・蒲田	東京都	41	17
15	自由が丘	東京都	32	47
16	吉祥寺	東京都	31	9
17	上野	東京都	30	7
18	麻布十番	東京都	29	39
19	三軒茶屋	東京都	28	31
19	中目黒	東京都	28	28
19	大宮	埼玉県	28	14

女性(20～30代のみ)				
順位	街	都県	得点	総合順位
1	恵比寿	東京都	118	8
2	新宿	東京都	107	1
3	東京駅周辺	東京都	95	3
4	銀座	東京都	75	2
5	有楽町	東京都	72	15
5	みなとみらい	神奈川県	72	11
7	渋谷	東京都	66	10
8	横浜駅周辺	神奈川県	65	4
9	六本木	東京都	64	16
10	表参道	東京都	62	42
11	上野	東京都	47	7
12	池袋	東京都	43	5
13	代官山	東京都	40	24
13	中目黒	東京都	40	28
15	吉祥寺	東京都	37	9
16	大宮	埼玉県	32	14
17	台場	東京都	31	51
18	青山	東京都	28	80
19	新橋	東京都	27	6
20	赤坂見附	東京都	26	13
20	目黒	東京都	26	54

コスパが良いイメージがある街_総合

- 前年3位の上野が1位となった
- 前年から急上昇した街は横浜駅周辺、渋谷、吉祥寺、阿佐ヶ谷、立川、中野

前年から5ランク以上上昇

順位	街	都県	得点	2024総合順位	2023順位
1	上野	東京都	1257	7	3
2	赤羽	東京都	723	12	1
3	新橋	東京都	661	6	2
4	新宿	東京都	493	1	5
5	大森・蒲田	東京都	453	17	8
6	池袋	東京都	362	5	7
7	北千住	東京都	359	22	6
8	野毛	神奈川県	336	21	4
9	横浜駅周辺	神奈川県	319	4	17
10	渋谷	東京都	279	10	16
11	亀戸	東京都	271	26	-
12	大宮	埼玉県	269	14	12
13	高円寺	東京都	250	47	11
14	吉祥寺	東京都	221	9	22
15	立石	東京都	215	76	9
16	下北沢	東京都	213	18	15
17	錦糸町	東京都	208	30	13
18	阿佐ヶ谷	東京都	200	64	38
19	立川	東京都	196	22	30
19	中野	東京都	196	43	26

※2023年は1〜3位を回答するのではなく、単純に3つ選択での回答であったため参考として扱っている ※亀戸は今回の調査から新たに追加

コスパが良いイメージがある街_都県別(※)

- 1位が入れ替わったのは東京都と千葉県
- 神奈川県は野毛が、埼玉県では大宮が2年連続で1位となった

前年からの順位変動

東京都					神奈川県					千葉県					埼玉県				
順位	街	得点	2024 総合順位	2023 順位	順位	街	得点	2024 総合順位	2023 順位	順位	街	得点	2024 総合順位	2023 順位	順位	街	得点	2024 総合順位	2023 順位
1	上野	723	7	3	1	野毛	319	21	1	1	柏	148	37	4	1	大宮	250	14	1
2	赤羽	661	12	1	2	横浜駅周辺	279	4	3	2	船橋	127	32	1	2	川越	75	57	2
3	新橋	524	6	2	3	川崎	167	34	2	3	千葉駅周辺	99	57	3	3	所沢	74	71	5
4	新宿	453	1	4	4	溝の口	128	53	5	4	西船橋	66	80	2	4	川口	69	84	3
5	大森・蒲田	381	17	7	5	関内	116	39	7	5	津田沼	55	84	5	5	さいたま新都心	62	62	-
6	池袋	359	5	6	6	横浜中華街	105	20	4	6	松戸	54	88	6	6	浦和	58	61	4
7	北千住	338	22	5	7	みなとみらい	101	11	-	7	千葉中央	47	105	-	7	熊谷	41	92	-
8	渋谷	271	10	13	8	桜木町	79	44	10	8	市川	37	114	-	8	春日部	39	104	-
9	亀戸	269	26	-	9	藤沢	71	69	10	9	稲毛	33	99	-	9	越谷レイクタウン	34	106	-
10	高円寺	221	47	10	10	本厚木	70	72	6	9	南柏	33	128	-	10	上尾	33	111	-

※総合ランキングを都県ごとに分割したもの ※亀戸、みなとみらい、千葉中央、市川、稲毛、南柏、さいたま新都心、熊谷、春日部、越谷レイクタウン、上尾は今回の調査から新たに追加

コスパが良いイメージがある街_個人年収別

- 赤羽が3つのレンジで2位以内となった
- 個人年収別で見ると、上野の順位が800-1200万円未満になると下がっている

■・・・全体順位から10ランク以上アップ

400万円未満					400-800万円未満					800-1200万円未満				
順位	街	都県	得点	全体順位	順位	街	都県	得点	全体順位	順位	街	都県	得点	全体順位
✔ 1	上野	東京都	291	1	✔ 1	上野	東京都	271	1	✔ 1	赤羽	東京都	66	2
✔ 2	赤羽	東京都	265	2	✔ 2	赤羽	東京都	207	2	2	新橋	東京都	52	3
3	新宿	東京都	190	4	3	新橋	東京都	191	3	✔ 3	上野	東京都	39	1
4	新橋	東京都	180	3	4	新宿	東京都	141	4	4	立石	東京都	38	15
5	北千住	東京都	152	7	5	大森・蒲田	東京都	140	5	5	新宿	東京都	36	4
6	池袋	東京都	150	6	6	池袋	東京都	122	6	6	北千住	東京都	28	7
7	野毛	神奈川県	141	8	7	北千住	東京都	112	7	7	川崎	神奈川県	24	26
8	大森・蒲田	東京都	136	5	8	亀戸	東京都	105	11	8	大森・蒲田	東京都	23	5
9	渋谷	東京都	121	10	9	横浜駅周辺	神奈川県	102	9	9	神田	東京都	23	32
10	大宮	埼玉県	113	12	10	野毛	神奈川県	93	8	10	横浜駅周辺	神奈川県	21	9

海外からのゲストを飲みに連れていきたい街

- 浅草が下位と大きく得点差をつけて1位となった
- 浅草、歌舞伎町、月島、台場、秋葉原、人形町が飲みたい街ランキングより順位が10ランク以上アップ

■・・・「飲みたい街」総合順位から10ランク以上アップ ■・・・「飲みたい街」総合順位から10ランク以上ダウン

順位	街	都県	得点	飲みたい街順位
✓ 1	浅草	東京都	1018	19
2	東京駅周辺	東京都	847	3
3	銀座	東京都	812	2
4	新宿	東京都	702	1
5	渋谷	東京都	545	10
6	上野	東京都	528	7
✓ 7	歌舞伎町	東京都	453	38
8	六本木	東京都	441	16
9	みなとみらい	神奈川県	427	11
10	赤坂見附	東京都	407	13
✓ 11	月島	東京都	371	45
✓ 12	台場	東京都	326	51
13	新橋	東京都	277	6
14	横浜中華街	神奈川県	267	20
✓ 15	秋葉原	東京都	262	47
16	横浜駅周辺	神奈川県	254	4
17	池袋	東京都	237	5
18	神楽坂	東京都	227	25
✓ 19	人形町	東京都	223	52
20	大森・蒲田	東京都	210	17

本当は教えたくない、推しの街_総合

- 前年から急上昇(順位が10ランク以上アップ)となったのは赤坂見附、台場、横浜駅周辺、歌舞伎町
- 下北沢は飲みたい街の総合ランキングではTop20入りしたが、こちらでは前年比でランクダウンした

前年順位から10ランク以上アップ 前年順位から10ランク以上ダウン

順位	街	都県	得票数 (※1)	2024総合順位	2023順位 (※2)
1	東京駅周辺	東京都	372	3	1
2	渋谷	東京都	265	10	2
3	みなとみらい	神奈川県	245	11	4
4	銀座	東京都	188	2	8
5	赤坂見附	東京都	185	13	21
6	新宿	東京都	182	1	11
7	代官山	東京都	158	24	7
8	台場	東京都	152	51	24
9	横浜駅周辺	神奈川県	148	4	19
10	横浜中華街	神奈川県	147	20	10
11	上野	東京都	145	7	18
12	大森・蒲田	東京都	140	17	9
13	下北沢	東京都	138	18	3
13	吉祥寺	東京都	138	9	6
15	浅草	東京都	137	19	15
16	新大久保	東京都	133	26	5
17	鎌倉	神奈川県	125	60	23
18	歌舞伎町	東京都	124	38	34
19	赤羽	東京都	122	12	13
19	高輪ゲートウェイ	東京都	122	101	17

※1：過去1年間で飲みに行った街を複数選択してもらう設問での得票数の合計値 ※2：当設問については2023年も同様に聴取したため、経年比較を記載

飲む頻度が高い人の本当は教えたくない、推しの街

- 週に1回以上外食で飲む頻度が高い人に絞ってみると代官山、台場、人形町、歌舞伎町、二子玉川、荻窪・西荻窪、月島、鎌倉がTop20にランクインする

■・・・「飲みたい街」総合順位から10ランク以上アップ ■・・・「飲みたい街」総合順位から10ランク以上ダウン

週に1回以上外食で飲酒する人（n=713）

順位	街	都県	得票数（※）	総合順位
1	東京駅周辺	東京都	110	3
2	赤坂見附	東京都	78	13
3	渋谷	東京都	71	10
4	代官山	東京都	58	24
5	みなとみらい	神奈川県	55	11
6	大森・蒲田	東京都	52	17
6	銀座	東京都	52	2
8	台場	東京都	47	51
9	人形町	東京都	45	52
10	下北沢	東京都	41	18
10	新宿	東京都	41	1
12	歌舞伎町	東京都	40	38
13	吉祥寺	東京都	39	9
13	上野	東京都	39	7
15	恵比寿	東京都	34	8
16	赤羽	東京都	32	12
17	横浜駅周辺	神奈川県	31	4
18	二子玉川	東京都	30	54
18	荻窪・西荻窪	東京都	30	32
20	月島	東京都	29	45
20	浅草	東京都	29	19
20	鎌倉	神奈川県	29	60

※過去1年間で飲みに行った街を複数選択してもらう設問での得票数の合計値

本当は教えたくない、推しの街_都県別^(※1)

- 東京都以外で都県別ランキングとの順位差が特に大きいのは南流山、西川口、武蔵浦和

…「飲みたい街」都県別順位から10ランク以上アップ

東京都				神奈川県				千葉県				埼玉県			
順位	街	得票 (※2)	飲みたい街 東京 順位	順位	街	得票 (※2)	飲みたい街 神奈川 順位	順位	街	得票 (※2)	飲みたい街 千葉 順位	順位	街	得票 (※2)	飲みたい街 埼玉 順位
1	東京駅周辺	372	3	1	みなとみらい	245	2	1	舞浜	44	4	1	大宮	82	1
2	渋谷	265	9	2	横浜駅周辺	148	1	2	柏	37	2	2	越谷レイクタウン	54	10
3	銀座	188	2	3	横浜中華街	147	3	3	船橋	30	1	3	川越	52	2
4	赤坂見附	185	11	4	鎌倉	125	9	4	千葉駅周辺	27	3	4	さいたま新都心	44	4
5	新宿	182	1	5	野毛	89	4	5	海浜幕張	25	12	5	浦和	42	3
6	代官山	158	19	6	海老名	57	14	6	南流山	19	18	6	所沢	27	5
7	台場	152	41	7	たまプラーザ	53	10	7	千葉中央	16	10	7	川口	25	6
8	上野	145	6	8	武蔵小杉	48	13	8	西船橋	15	5	8	深谷	13	14
9	大森・蒲田	140	14	9	川崎	46	5	8	津田沼	15	6	8	西川口	13	29
10	下北沢	138	15	10	桜木町	43	7	10	木更津	14	11	8	武蔵浦和	13	18
10	吉祥寺	138	8												

※1：総合ランキングを都県ごとに分割したもの ※2：過去1年間で飲みに行った街を複数選択してもらう設問での得票数の合計値

女子会・男子会で飲みにいきたい街(20～30代のみ)

- 女子会・男子会では表参道、自由が丘、原宿が総合ランキングと大きな順位差が出た
- 男女とも20位内かつ男女で10ランク以上差が出たのは池袋、上野、赤坂見附、銀座、みなとみらい

緑・・・「総合ランキング」とのギャップが大きい(30ランク以上)

全体 (20～30代のみ)				
順位	街	都県	得点	総合順位
1	新宿	東京都	152	1
2	渋谷	東京都	135	10
3	代官山	東京都	123	24
4	東京駅周辺	東京都	119	3
5	表参道	東京都	116	42
6	恵比寿	東京都	105	8
6	みなとみらい	神奈川県	105	11
8	銀座	東京都	102	2
9	池袋	東京都	101	5
9	六本木	東京都	101	16
11	横浜駅周辺	神奈川県	85	4
12	上野	東京都	80	7
13	有楽町	東京都	71	15
14	赤坂見附	東京都	69	13
14	自由が丘	東京都	69	47
16	吉祥寺	東京都	61	9
17	大森・蒲田	東京都	60	17
17	新橋	東京都	60	6
19	原宿	東京都	59	66
20	新大久保	東京都	57	26

青・・・男女ともTop20以内かつ男女で順位差あり(10ランク以上)
※男性「高」・女性「低」

男性 (20～30代のみ)				
順位	街	都県	得点	女性順位
1	新宿	東京都	90	8
2	渋谷	東京都	69	7
3	池袋	東京都	63	13
4	東京駅周辺	東京都	50	6
5	新橋	東京都	47	41
5	六本木	東京都	47	9
7	代官山	東京都	46	4
7	上野	東京都	46	17
9	大森・蒲田	東京都	45	34
10	赤坂見附	東京都	41	20
11	自由が丘	東京都	33	15
11	横浜駅周辺	神奈川県	33	10
13	目黒	東京都	31	24
14	秋葉原	東京都	30	56
14	原宿	東京都	30	19
14	亀戸	東京都	30	34
17	大宮	埼玉県	28	37
18	歌舞伎町	東京都	26	50
18	吉祥寺	東京都	26	16
18	銀座	東京都	26	5
18	赤羽	東京都	26	34
18	みなとみらい	神奈川県	26	3

赤・・・男女ともTop20以内かつ男女で順位差あり(10ランク以上)
※男性「低」・女性「高」

女性 (20～30代のみ)				
順位	街	都県	得点	男性順位
1	表参道	東京都	93	26
2	恵比寿	東京都	88	39
3	みなとみらい	神奈川県	79	18
4	代官山	東京都	77	7
5	銀座	東京都	76	18
6	東京駅周辺	東京都	69	4
7	渋谷	東京都	66	2
8	新宿	東京都	62	1
9	六本木	東京都	54	5
10	横浜駅周辺	神奈川県	52	11
11	新大久保	東京都	49	72
11	有楽町	東京都	49	28
13	池袋	東京都	38	3
14	中目黒	東京都	37	39
15	自由が丘	東京都	36	11
16	吉祥寺	東京都	35	18
17	上野	東京都	34	7
18	三軒茶屋	東京都	30	45
19	原宿	東京都	29	14
20	赤坂見附	東京都	28	10

ご紹介するランキング

1

「飲みたい街ランキング」総合編

2

「飲みたい街ランキング」テーマ別編

3

「飲んでいる街ランキング」

飲んでいる街_総合(1~20位)

- 新宿は実際に飲んでいる街としても1位
- 秋葉原、品川・田町などは飲みに行きたい人に比べ実際に飲みに行く人が多く、その中で渋谷が上位

・・・「飲みたい街」総合順位から10ランク以上アップ

	順位 (①)	街	都県	得票数 (※)	飲みたい街順位 (②)	ギャップ (①-②)
☑	1	新宿	東京都	604	1	0
☑	2	渋谷	東京都	396	10	-8
	3	東京駅周辺	東京都	373	3	0
	4	上野	東京都	367	7	-3
	5	新橋	東京都	342	6	-1
	6	銀座	東京都	317	2	4
	7	池袋	東京都	307	5	2
	8	横浜駅周辺	神奈川県	270	4	4
	9	恵比寿	東京都	220	8	1
	10	歌舞伎町	東京都	188	38	-28
	11	錦糸町	東京都	182	30	-19
☑	12	秋葉原	東京都	179	47	-35
	13	有楽町	東京都	175	15	-2
☑	14	品川・田町	東京都	164	50	-36
	15	赤坂見附	東京都	155	13	2
	16	吉祥寺	東京都	154	9	7
	17	神田	東京都	148	35	-18
	18	大森・蒲田	東京都	141	17	1
	19	大宮	埼玉県	140	14	5
	20	赤羽	東京都	138	12	8

※1：プラスが大きいほど、実際には飲みに行った人が多いものの飲みに行きたい街という印象は薄い街、逆にマイナスが大きいほど、実際に飲みに行った人は多くはないが飲みに行ってみたいと思っている街、という解釈ができる
※過去1年間で飲みに行った街を複数選択してもらった設問での得票数の合計値

飲んでいる街_総合(21~40位)

- みなとみらい、六本木は実際に飲みに行っている人は多くないが、飲みに行きたいと思う人が多い
- 五反田、水道橋などは飲みに行きたいという人に比べ、実際には飲みに行っている人が多い

・・・「飲みたい街」総合順位から10位以上アップ

・・・「飲みたい街」総合順位から10位以上ダウン

順位 (①)	街	都県	得票数 (※)	飲みたい街順位 (②)	ギャップ (①-②)
✓ 21	みなとみらい	神奈川県	133	11	10
21	横浜中華街	神奈川県	133	20	1
23	浅草	東京都	132	19	4
24	川崎	神奈川県	128	34	-10
25	下北沢	東京都	119	18	7
26	中目黒	東京都	109	28	-2
✓ 27	五反田	東京都	108	54	-27
28	立川	東京都	105	22	6
29	北千住	東京都	102	22	7
30	新大久保	東京都	101	26	4
31	三軒茶屋	東京都	99	31	0
32	二子玉川	東京都	98	54	-22
32	月島	東京都	98	45	-13
34	町田	東京都	96	29	5
34	日本橋	東京都	96	41	-7
36	荻窪・西荻窪	東京都	95	32	4
37	関内	神奈川県	92	39	-2
✓ 38	水道橋	東京都	90	99	-61
38	桜木町	神奈川県	90	44	-6
✓ 40	六本木	東京都	89	16	24
40	船橋	千葉県	89	32	8

※1：プラスが大きいほど、実際には飲みに行った人が多いものの飲みに行きたい街という印象は薄い街、逆にマイナスが大きいほど、実際に飲みに行った人は多くはないが飲みに行ってみたいと思っている街、という解釈ができる
※過去1年間で飲みに行った街を複数選択してもらう設問での得票数の合計値

飲んでいる街_総合(1~10位)_都県別^(※1)

- 各都県で飲みたい街のイメージと実際に飲んでいる人の多さのギャップが比較的大きく出ている街は歌舞伎町、錦糸町、新横浜、蕨で、千葉県^{※1}のTop10内ではそこまで大きなギャップは見られなかった

■・・・「飲みたい街」都県別順位から5ランク以上アップ ■・・・「飲みたい街」都県別順位からランク以上ダウン

東京都					神奈川県					千葉県					埼玉県				
順位 (①)	街	得票数 (※2)	飲みたい街 順位(②)	ギャップ (①-②)	順位 (①)	街	得票数 (※2)	飲みたい街 順位(②)	ギャップ (①-②)	順位 (①)	街	得票数 (※2)	飲みたい街 順位(②)	ギャップ (①-②)	順位 (①)	街	得票数 (※2)	飲みたい街 順位(②)	ギャップ (①-②)
1	新宿	604	1	0	1	横浜駅周辺	270	1	0	1	船橋	89	1	0	1	大宮	140	1	0
2	渋谷	396	9	-7	2	みなとみらい	133	2	0	2	柏	77	2	0	2	浦和	58	3	-1
3	東京駅周辺	373	3	0	2	横浜中華街	133	3	-1	3	千葉駅周辺	64	3	0	3	所沢	47	5	-2
4	上野	367	6	-2	4	川崎	128	5	-1	4	西船橋	49	5	-1	4	川口	46	6	-2
5	新橋	342	5	0	5	関内	92	6	-1	5	松戸	45	7	-2	5	川越	43	2	3
6	銀座	317	2	4	6	桜木町	90	7	-1	6	津田沼	35	6	0	6	さいたま新都心	32	4	2
7	池袋	307	4	3	7	武蔵小杉	86	13	-6	7	海浜幕張	32	12	-5	7	越谷	27	7	0
8	恵比寿	220	7	1	8	溝の口	70	8	0	7	成田	32	9	-2	8	春日部	25	9	-1
9	歌舞伎町	188	30	-21	9	野毛	66	4	5	9	舞浜	27	4	5	9	蕨	22	23	-14
10	錦糸町	182	25	-15	10	新横浜	63	25	-15	10	稲毛	23	8	2	10	熊谷	21	8	2
															10	志木	21	13	-3
															10	上尾	21	11	-1

※1：総合ランキングを都県ごとに分割したもの / ※2：過去1年間で飲みに行った街を複数選択してもらった設問での得票数の合計値

飲みに行った最も良い印象の街(1～40位)

- 最も良い印象が残っている街の1位も新宿
- Top10では大宮、11～40位では武蔵小杉が飲みたい街ランキング順位と差分が最も大きい

■・・・「飲みたい街」順位から20ランク以上アップ ■・・・「飲みたい街」順位から20ランク以上ダウン

1～20位						
順位①	街	都県	得票数	飲みたい街順位（②）	ギャップ（①-②）	
☑	1	新宿	東京都	144	1	0
	2	東京駅周辺	東京都	90	3	-1
	3	上野	東京都	84	7	-4
	3	横浜駅周辺	神奈川県	84	4	-1
	5	銀座	東京都	77	2	3
	6	池袋	東京都	70	5	1
	7	渋谷	東京都	68	10	-3
	8	新橋	東京都	60	6	2
☑	9	大宮	埼玉県	54	14	-5
	10	赤羽	東京都	46	12	-2
	11	吉祥寺	東京都	41	9	2
	11	恵比寿	東京都	41	8	3
	11	みなとみらい	神奈川県	41	11	0
	14	赤坂見附	東京都	35	13	1
	14	柏	千葉県	35	37	-23
	16	有楽町	東京都	34	15	1
	16	立川	東京都	34	22	-6
	18	大森・蒲田	東京都	31	17	1
	19	錦糸町	東京都	30	30	-11
	19	川崎	神奈川県	30	34	-15

21～40位						
順位①	街	都県	得票数	飲みたい街順位（②）	ギャップ（①-②）	
	21	神楽坂	東京都	28	25	-4
☑	21	武蔵小杉	神奈川県	28	74	-53
	23	神田	東京都	27	35	-12
	24	北千住	東京都	26	22	2
	25	桜木町	神奈川県	25	44	-19
	25	船橋	千葉県	25	32	-7
	27	品川・田町	東京都	24	50	-23
	28	中野	東京都	22	43	-15
	28	関内	神奈川県	22	39	-11
	28	野毛	神奈川県	22	21	7
	31	二子玉川	東京都	21	54	-23
	31	三軒茶屋	東京都	21	31	0
	31	秋葉原	東京都	21	47	-16
	31	町田	東京都	21	29	2
	31	溝の口	神奈川県	21	53	-22
	36	荻窪・西荻窪	東京都	20	32	4
	36	下北沢	東京都	20	18	18
	36	歌舞伎町	東京都	20	38	-2
	39	人形町	東京都	19	52	-13
	39	浅草	東京都	19	19	20
	39	川越	埼玉県	19	57	-18

※ギャップの値が小さいほどイメージと実感が近く、リピート意向が高くなる可能性があるとの解釈できる ※過去1年間で最も良い意味で印象に残った街を単一選択してもらう設問での得票数の合計値

飲みに行った最も良い印象の街_注目の街(※)の理由コメント抜粋

- ・ 注目の街には『美味しい』『コスパの良い』に類するコメントが目立った
- ・ また、再開発や街並みのリニューアルによる良い意味での印象の変化に触れるコメントも見られた

街(抜粋)	順位	コメントカテゴリ	コメント	回答者属性
新宿	1	アクセスが便利	駅から近く治安が良い	【千葉】男性_20代
		お店の選択肢が多い	混んでる時間帯でもお店の数が多く、目当てのお店でないにしてもどこかしら入ることができる	【東京】女性_30代
		コスパが良いお店がありそう	リーズナブルで品数が多かった	【東京】女性_40代
		街の雰囲気	再開発が進み、街の景観や新規出店など 以前とかわった雰囲気 になってきた	【千葉】女性_20代
大宮	9	お店の選択肢が多い	---	【埼玉】女性_50代
		良いお店・美味しいお店がありそう	チェーン店の居酒屋でも クオリティが高かった	【埼玉】女性_50代
		コスパが良いお店がありそう	お店がたくさんある、値段もお手頃	【埼玉】女性_30代
		街の雰囲気	再開発 が進んだ	【埼玉】男性_40代
		通い慣れている・行きつけがある	雰囲気の良い店を見つけた	【埼玉】男性_30代
赤羽	10	アクセスが便利	徒歩圏内でいろいろなジャンルのお店を楽しむことができた	【埼玉】女性_40代
		良いお店・美味しいお店がありそう	仕事場に近く、 意外とオシャレで美味しい お店がある	【東京】女性_50代
		通い慣れている・行きつけがある	お店の方と仲良くなった	【東京】女性_50代
柏	14	お店の選択肢が多い	お店もたくさんあって選び放題	【千葉】女性_20代
		コスパが良いお店がありそう	飲み屋さんが多いし、都内で飲むより安い	【千葉】男性_50代
		街の雰囲気	昔とぜんぜん違う街 になっていた	【千葉】女性_20代
野毛	28	お店の選択肢が多い	ちよい飲みできるお店が多い	【神奈川】女性_40代
		良いお店・美味しいお店がありそう	特に駅近の地下街は 新しくなっていて 、綺麗で美味しいお店が多くて安かったので 新たな発見だった	【神奈川】女性_40代
		街の雰囲気	初めて野毛に行き、街の大きさや雰囲気の良さに驚いた	【東京】男性_50代

※当該ランキングで1位の街と、「飲んでいる街ランキング」の順にとの差が特に大きい（前頁で言及）街

「ホットペッパーグルメ外食総研」注目の街

- 研究員の注目する街と、その街にある注目の飲食店をピックアップした



上席研究員 竹田 クニ



渋谷

- 飲みたい街 **10位**
- 飲んでいる街 **2位**
- 飲みたい街ランキングと飲んでいる街ランキングの順位に大きな差あり
(**8pt**)

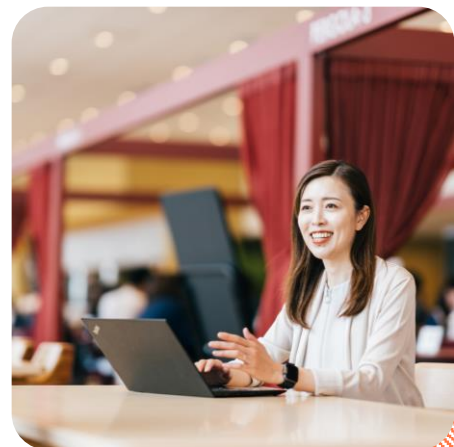


研究員 飯田 啓恵



赤羽

- 飲みたい街 **12位**
- コスパが良い街 **2位**(前年1位)
- 飲みたい街ランキングでは過去6回の調査でも10位前後につけており
高位安定



研究員 宮田 英子



赤坂見附

- 飲みたい街 **13位**
(前年比**26ランクアップ**)
- 最も良い印象の街 **14位**
- 両ランキングの順位にギャップが見られず、**期待と実感が近い**

「ホットペッパーグルメ外食総研」注目の街_渋谷

渋谷

ランキングにおける特徴

- 飲みたい街 **10位**
 - 飲んでいる街 **2位**
- 両ランキングの順位に大きな差（**8pt**）

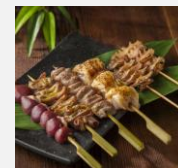
飲みたい街	飲んでいる街
1.	1.
2.	2. 渋谷
3.	3.
4.	4.
~~~~~	~~~~~
✓ 10. <b>渋谷</b>	10. ....
11. ....	11. ....
12. ....	12. ....
.....	.....

### 研究員の注目ポイント

- 2012年のヒカリエ開業を皮切りに始まった「10の再開発プロジェクト」により、「遊ぶ」の要素のみならず「働く」についても開発が進んだ。
- 若者の街から大人の街へのキャラ変を図っているが、逆に20・30代の支持を集めているところが意外
- 再開発きっかけで恵比寿からの流入も？

### 渋谷地域で店舗展開している外食企業例

- ＜株式会社 グッドスパイラル＞：「もんじろう」、他
- 串焼き、ビストロ、海鮮など多彩な業態を渋谷だけで8店舗展開



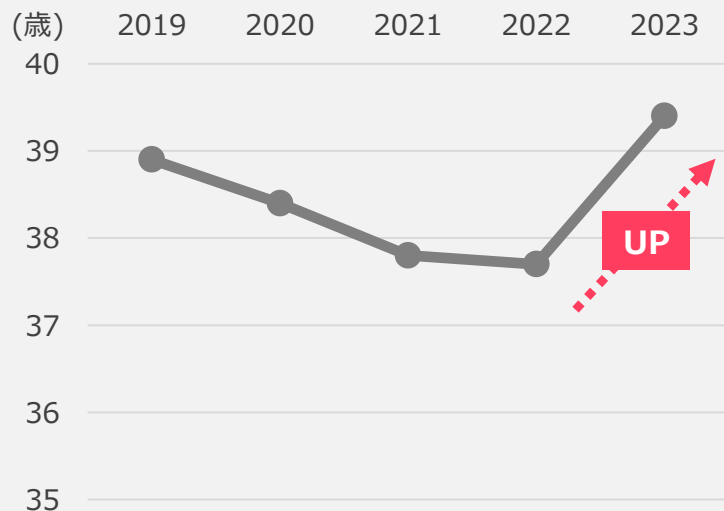
# 「ホットペッパーグルメ外食総研」注目の街_渋谷

- 再開発の影響か、外食する人、外食単価ともに上昇傾向にあることが見える

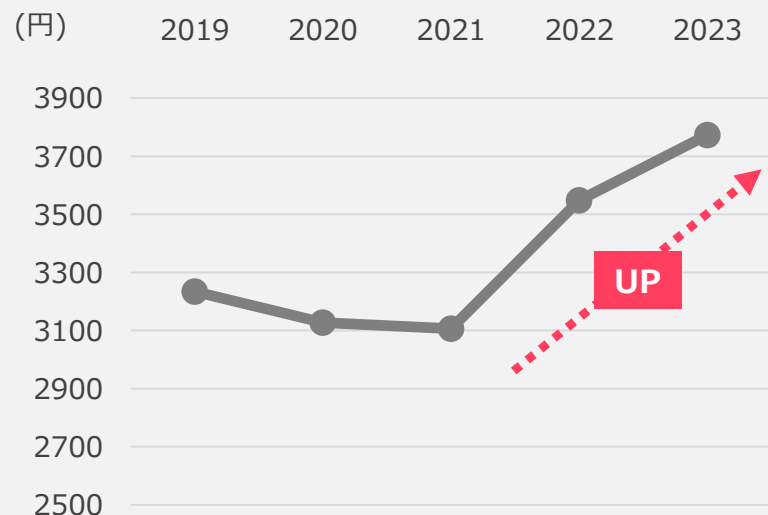
## 渋谷

### 外食市場調査(※)に見る渋谷の変化

＜渋谷で外食している人の平均年齢＞



＜渋谷で外食している人の1回あたりの単価＞



※外食市場調査における「渋谷」は表参道や原宿などの近隣エリアも含む

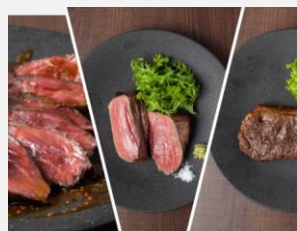
# 「ホットペッパーグルメ外食総研」注目のお店_渋谷

## 街の特徴が表れている注目のお店



### 渋谷ワイナリー東京

- 2020年8月に誕生した「超都市型」ワイナリー
- ぶどうの除梗破碎から搾汁、漉引き、濾過、瓶詰め、ラベル張りまで醸造にかかわるすべての作業を渋谷で行う
- ぶどうの収穫シーズンでは現地集合にて収穫体験や店舗での除梗破碎体験、瓶詰め体験も提供。直営レストランで食事とともに楽しめる



### Spice Theater

- 大衆酒場BEETLEなどを展開するプロダクトオブタイムが手掛ける本格エスニックとクラフトビールの意欲作
- 昼時は近隣のワーカーを中心にスパイスカレーのランチ、夜はタンドール窯で仕上げるタパスをつまみつつクラフトビールで乾杯、メにはカレーが楽しめる。昼飲みや夜の食事利用も可能で、オールデイに使うことができる

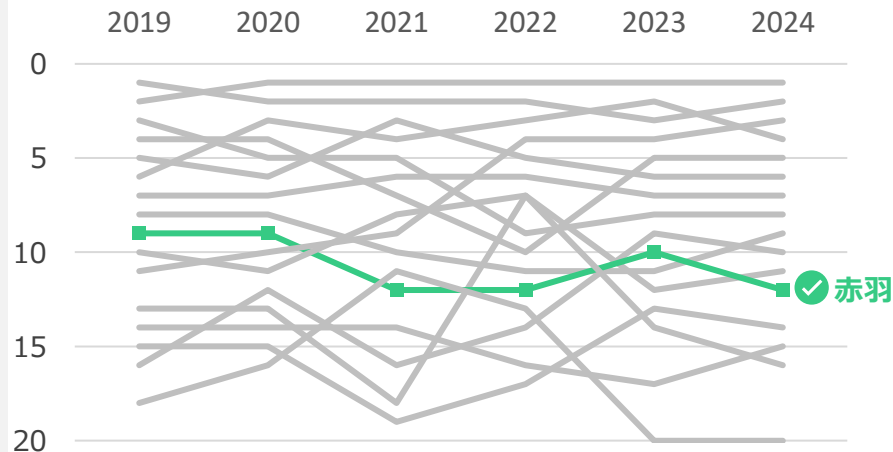


# 「ホットペッパーグルメ外食総研」注目の街_赤羽

## 赤羽

### ランキングにおける特徴

- 飲みたい街 **12位**
- コスパが良い街 **2位(前年1位)**
- 飲みたい街ランキングでは過去6回の調査でも10位前後につけており**高位安定**



### 研究員の注目ポイント

- コスパの良さ、よい意味での猥雑さ、昼から一人でも飲みやすいカジュアルさが特徴。最近では飲食店の価格帯バリエーションも多様化傾向にある
- 東京、池袋、新宿（約15分以内）、渋谷、恵比寿（25分以内）など主要都市まで一本で行ける
- 赤羽をSNSで紹介するインフルエンサーも増えて認知も拡大し、若者も増えている



### 赤羽地域で店舗展開している外食企業例

＜株式会社 一步。＞：「闇市」、他

- 地鶏、もつ、ジンギスカンなどがリーズナブルに堪能できる店舗を赤羽に6店舗展開



# 「ホットペッパーグルメ外食総研」注目のお店_赤羽

## 街の特徴が表れている注目のお店



### 居酒屋燃えた うらめし屋 赤羽

- ・『ニュー赤羽ニクマレヤ』がオープン1年たらずでもらい出火で全焼→1年後(24年4月)に復活。高級感がありながらも赤羽ならではの 대중感も残す「少し大人の大衆酒場」をコンセプトに人気を集め、たちまち繁盛店に
- ・「溢れいくらの出汁巻」・「牛たんてっさ」などSNS映えするメニューも多彩



### 立ち呑み ソルト

- ・脱サラした20代関西出身のメンバーが中心となり、コロナ禍でオープン。わずか4年で都内で3店舗を展開し、知る人ぞ知る人気店となった立ち飲み店で、どの店舗も人気で毎日ほぼ満席
- ・『毎日食べても飽きない』と評判の日替わりメニューおばんざいを中心としたメニューにリピーター多し。女性客も多い



# 「ホットペッパーグルメ外食総研」注目の街_赤坂見附

## 赤坂見附

### ランキングにおける特徴

- 飲みたい街 **13位**
- 最も良い印象の街 **14位**
- 両ランキングの順位にギャップが見られず、**期待と実感が近い**

飲みたい街	
1.	.....
2.	.....
3.	.....
4.	.....
~~~~~	
12.
✓ 13.	赤坂見附
14.
.....	

最も良い印象の街	
1.
2.	渋谷
3.
4.
~~~~~	
12.	.....
13.	.....
✓ 14.	赤坂見附
.....	

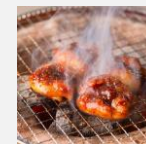
### 研究員の注目ポイント

- 「住みたい街ランキング」2023→2024年版にかけて順位が159→113位へとジャンプアップ
- 昭和の時代は料亭も多く、花街としても賑やかだったが現在も歴史や文化の香を感じる施設や老舗も多い。ビジネスマンのランチから接待まで、幅広い用途で使える飲食店が多い

### 赤坂見附地域で店舗展開している外食企業例

<おやじのやまだ/おやじのおとうと/おやじの見附>

- 焼肉・ホルモン店をエリア内で3店舗展開。良質な肉をコスパ高く味わえる



# 「ホットペッパーグルメ外食総研」注目のお店_赤坂見附

## 街の特徴が表れている注目のお店



### やさい村 大地

- ・ 赤坂見附に2店舗展開するサムギョプサル専門店
- ・ 契約農家から毎朝届く15種類以上の野菜とともに、炭火で焼き上げるサムギョプサルを楽しめる
- ・ サムギョプサルは炭火の強い遠赤外線で焼くことによって旨味を閉じ込め、外はカリッとしながらも中はジューシー



## 店舗運営の工夫・取り組みがあるお店



### ティーンン 赤坂店

- ・ 日本に数少ない、タイ本国の商務省から認定されたタイセレクト認定店舗。直営店舗は関東エリアで6店舗を展開
- ・ 名物のトムヤムラーメンだけでなく、一皿飯をはじめとするタイの屋台料理も豊富な「飲めるタイ料理屋」
- ・ モバイルオーダー導入によってタイ人シェフとホールスタッフのコミュニケーションミスの極少化にも成功している



# 「飲みたい街・飲んでいる街」まとめと今後の予測

## 「飲みたい街」

- SNSなどの情報源の拡大、一人外食の普及やコスパ・タイパ思考の高まりなどの変化が順位の変動に影響を及ぼしているように見える
- 再開発や集客力の高い施設（ショッピングモールなど）によって人の流れが変わり、注目を集める街が各地で見られ、今後も変動がありそう



## 「飲んでいる街」

- 渋谷、歌舞伎町のように「飲みたい街」よりも「実際に飲んでいる街」としての順位が高い街もあり、勤務地・居住地やアクセスの良さが影響しているか
- イメージとの良い意味でのギャップがある街が良い意味で印象に残る傾向あり。下町に高級感のあるメニューや内装、或いはその反対など、期待値と実感値のギャップを生み出す仕掛けが今後は求められそう



『ホットペッパーグルメ外食総研』は、  
世の中・市場・消費者の変化を捉え、発信することによって  
これからも外食産業の進化発展を支援してまいります。

本日はご参加ありがとうございました。

本日のセミナー参加のご意見を是非とも頂けたらと思います。  
下記URLか右のQRコードより、ご回答お願いいたします。

<https://forms.office.com/r/CEP8p5CSR0>

ご回答は  
こちらからどうぞ

